

# 京都府教育振興プランに基づく取組状況等まとめ

## 【取組実績編】

<本資料の見方について>

- ・この資料は、平成23年度以降の取組について、その取組実績を掲載しています。
- ・取組の横に記載の数字は、取組の開始年度を表します。

ただし、平成23年度以前から実施している取組も「H23～」等と表記しています。

(表記の例 ①H23～：23年度（または、それ以前）から開始し、現在も継続

②～H25：25年度で終了 ③H24：24年度のみで終了)

- ・26年度は、集計中等により空欄の箇所があります。また、数値が入っている場合でも、今後変動する場合があります。

# 目次

## <京都の未来を創造する人づくりに向けた教育の推進>

- 重点目標1 質の高い学力をはぐくむ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 重点目標2 規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ・・・・・・ 7
- 重点目標3 たくましく健やかな身体をはぐくむ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 重点目標4 一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 重点目標5 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ・・・・ 23

## <京都の力を活かして一人一人の学びを支える教育環境づくり>

- 重点目標6 学校の教育力の向上を図る・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- 重点目標7 安心・安全で充実した教育の環境を整備する・・・・・・・・・・・・・・ 32
- 重点目標8 すべての教育の出発点である家庭教育を支援する・・・・・・・・・・・・・・ 35
- 重点目標9 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる・・・・・・・・・・・・・・ 37
- 重点目標10 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる・・・・・・・・・・・・・・ 39
- その他の施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

## 重点目標1 質の高い学力をはぐくむ

取組名	子どものための京都式少人数教育 H23～
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市町（組合）教育委員会が学校や児童生徒の状況に応じて少人数授業・ティームティーチング・少人数学級を選択できるよう教員定数を配置</li> <li>○小学校1・2生の30人を超える学級は2人の教員による指導を完全実施</li> <li>○小学校3～6生で30人程度の学級編制が可能となるよう教員を配置</li> <li>○全ての中学校で35人を超える学級規模の解消又は数学・英語を中心とした習熟度別授業の充実が可能となるよう教員を配置</li> </ul>
担当課	教職員課・学校教育課

取組名	中1振り返り集中学習「ふりスタ」H23～ (H23学力パワーアップ総合策推進事業、H24学力充実推進事業、H25～中学生学力アップ促進事業)										
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校1年生の早期に小学校の基礎基本を徹底し、学習のつまずきの解消を図る「中1振り返り集中学習（ふりスタ）」を実施【H23～】</li> <li>▶実施状況（京都市立含む。）</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>138校</td> <td>144校</td> <td>140校</td> <td>135校</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら学び考える力の育成等に向けて、英検等各種検定試験へのチャレンジを通じて学校が地域と連携して取り組む「チャレンジ学習」を中学校32校で実施【H23】</li> </ul>		23年度	24年度	25年度	26年度	中学校	138校	144校	140校	135校
	23年度	24年度	25年度	26年度							
中学校	138校	144校	140校	135校							
担当課	学校教育課										

取組名	中2学力アップ集中講座 H25～ (中学生学力アップ促進事業)						
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土曜日を活用しながら、中学校2年生段階における基礎学力の定着と、発展学習のための集中学習を実施</li> <li>▶実施状況</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>90校</td> <td>92校</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	中学校	90校	92校
	25年度	26年度					
中学校	90校	92校					
担当課	学校教育課						

取組名	学力充実・向上システム H23～H25 学力向上システム開発校 H25～ (H23京の子ども学力充実推進事業、H24学力充実推進事業、H25～中学生学力アップ促進事業)
取組実績	○学校の創意工夫による先導的な研究開発や実践研究を推進するとともに、研究成果の普及により学力や教職員の指導力の向上を図るため、「京の未来創

	造校」を指定【H23～H25】														
	<p>▶指定状況</p> <table border="1"> <tr> <td>22・23年度</td> <td>23・24年度</td> <td>24・25年度</td> </tr> <tr> <td>小学校7校</td> <td>小学校9校</td> <td>小学校13校</td> </tr> <tr> <td>中学校13校</td> <td>中学校10校</td> <td>中学校9校</td> </tr> </table> <p>○学校独自の学力向上プランの実施や、その成果の波及による府全体の学力向上を推進するため、「学力向上システム開発校」を指定【H25～】</p> <p>▶指定状況</p> <table border="1"> <tr> <td>25・26年度</td> <td>26・27年度</td> </tr> <tr> <td>小学校4校</td> <td>小学校4校</td> </tr> <tr> <td>中学校6校</td> <td>中学校5校</td> </tr> </table> <p>○総合教育センターと共同し、教科の単元ごとに指導方法や教材などをまとめた単元指導パッケージを開発【H23】 (小学校90パッケージ、中学校45パッケージ)</p> <p>○児童生徒の課題に応じて学習できる「算数ナビつ～る」を学校現場で検証し、中学校の学習内容にも拡充した「算数・数学ナビつ～る」に改良・配付【H23】</p> <p>○英語の苦手な中学生が英語が読めるという達成感を持ち、自ら英語学習に取り組めるよう、難易度や題材に工夫を凝らした中学校「読む力を伸ばす英文教材集」を作成・配付【H24】</p>	22・23年度	23・24年度	24・25年度	小学校7校	小学校9校	小学校13校	中学校13校	中学校10校	中学校9校	25・26年度	26・27年度	小学校4校	小学校4校	中学校6校
22・23年度	23・24年度	24・25年度													
小学校7校	小学校9校	小学校13校													
中学校13校	中学校10校	中学校9校													
25・26年度	26・27年度														
小学校4校	小学校4校														
中学校6校	中学校5校														
担当課	学校教育課														

取組名	小・中学校学力診断テストの実施 H23～ (H23京の子ども学力充実推進事業、H24学力充実推進事業、H25～中学生学力アップ促進事業)																				
取組実績	<p>○児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握し、個々に対応した指導及び授業改善に役立てるため、京都府独自の学力診断テストを府内全小中学校で実施</p> <p>▶小学校</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>学年</td> <td>教科</td> </tr> <tr> <td>23～24年度</td> <td>4・6年生</td> <td>国語・算数</td> </tr> <tr> <td>25年度～</td> <td>4年生</td> <td>国語・算数</td> </tr> </table> <p>▶中学校</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>学年</td> <td>教科</td> </tr> <tr> <td>23～24年度</td> <td>2年生</td> <td>国語・数学・英語</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">25年度～</td> <td>1年生</td> <td>国語・数学(算数)</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>国語・数学・英語</td> </tr> </table> <p>○児童生徒の学習環境や家庭における生活状況等の特徴や課題を把握するため、質問紙調査を実施</p>		学年	教科	23～24年度	4・6年生	国語・算数	25年度～	4年生	国語・算数		学年	教科	23～24年度	2年生	国語・数学・英語	25年度～	1年生	国語・数学(算数)	2年生	国語・数学・英語
	学年	教科																			
23～24年度	4・6年生	国語・算数																			
25年度～	4年生	国語・算数																			
	学年	教科																			
23～24年度	2年生	国語・数学・英語																			
25年度～	1年生	国語・数学(算数)																			
	2年生	国語・数学・英語																			
担当課	学校教育課																				

取組名	学力向上サポートチーム H25～ (中学生学力アップ促進事業)						
取組実績	<p>○学力向上拠点校に学力向上サポートチームを配置し、補充学習や家庭学習等の学力向上対策を支援</p> <p>▶配置状況</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>12校</td> <td>13校</td> </tr> </table>		25年度	26年度	中学校	12校	13校
	25年度	26年度					
中学校	12校	13校					

担 当 課	学校教育課
-------	-------

取 組 名	中学生読解力向上対策 H25～ (中学生学力アップ促進事業)
取 組 実 績	<p>○「読む力」「書く力」を総合的に高めていき、実生活で活用できる力を身に付けた生徒を育成し、義務教育修了段階で、1200字程度の小論文を書く力を育てるため、「小論文グランプリ」を開催</p> <p>25年度 個人作品の部146名 文集作品の部20校 26年度 個人作品の部196名 文集作品の部24校</p> <p>○読解力向上のための理論や実践から、「学び」への関心・意欲の向上や「学び」の質を高める具体的な方策について考える機会とするため「読解力向上フォーラム」を開催</p>
担 当 課	学校教育課

取 組 名	学力向上フロンティア校支援 H23～H24 (府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業)												
取 組 実 績	<p>○府立高校の学力向上に向けた主体的な取組を支援するため、「学力向上フロンティア校」を指定し、取組を支援</p> <p>○選出に当たっては企画コンペを実施。審査員に学識経験者やPTA代表等も加え、各校のプレゼンテーションを審査</p> <p>▶応募状況の推移</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企画応募校</td> <td>30校</td> <td>36校</td> </tr> <tr> <td>コンペ出場校</td> <td>22校</td> <td>25校</td> </tr> <tr> <td>指定校</td> <td>14校</td> <td>17校</td> </tr> </tbody> </table> <p>▶指定校の特徴的な取組内容例</p> <p>23年度 和歌の創作を通じた言語力の育成、Nintendo DS、検定本を活用した基礎学力の向上 等</p> <p>24年度 電子黒板等ICTを活用した授業による学力の向上、職業に関する専門学科を設置する2校が連携した学力向上の取組 等</p>		23年度	24年度	企画応募校	30校	36校	コンペ出場校	22校	25校	指定校	14校	17校
	23年度	24年度											
企画応募校	30校	36校											
コンペ出場校	22校	25校											
指定校	14校	17校											
担 当 課	高校教育課												

取 組 名	府立高校実力テストの実施 H23～ (H23～H24府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業、H25～府立高校生ベーシックマスター支援事業)
取 組 実 績	○府立高校生の学力の状況を把握し、教科指導の充実を図るとともに、希望進路の実現に役立てるため、全府立高校生を対象に府独自の学力テストを実施(国語・数学・英語について、平成2年度から全府立高校で実施)
担 当 課	高校教育課

取 組 名	授業の達人 H23～
-------	------------

	(H23～H24府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業、H25～府立高校生ベーシックマスター支援事業)															
取組実績	<p>○高い指導力を有する教員を「授業の達人」として認定し、府立高校実力テスト問題作成協力委員や初任者研修での模範公開授業等を通して後進の指導に役立てた</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定</td> <td>6名</td> <td>8名</td> <td>6名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>77名</td> <td>81名</td> <td>82名</td> <td>80名</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	認定	6名	8名	6名	2名	計	77名	81名	82名	80名
	23年度	24年度	25年度	26年度												
認定	6名	8名	6名	2名												
計	77名	81名	82名	80名												
担当課	高校教育課															

取組名	高校生学習チャレンジサポート事業 H26～												
取組実績	<p>○府立高校生の学力向上と希望進路の実現を図るため、進学予備校による動画コンテンツを活用した学習指導を実施</p> <p>○教員の指導力向上を図るため、進学予備校等実施の研修講座受講を支援</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学予備校コンテンツ活用 綾部市以北の府立高校12校</li> <li>・教員研修受講者数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数※</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期休業期間</td> <td>90人</td> <td>対象：綾部市以北の府立高校12校</td> </tr> <tr> <td>冬期休業期間</td> <td>214人</td> <td>対象：全府立高校</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>304人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数講座受講の場合があるため延べ人数</p>		人数※	備考	夏期休業期間	90人	対象：綾部市以北の府立高校12校	冬期休業期間	214人	対象：全府立高校	計	304人	
	人数※	備考											
夏期休業期間	90人	対象：綾部市以北の府立高校12校											
冬期休業期間	214人	対象：全府立高校											
計	304人												
担当課	高校教育課												

取組名	学習習慣確立支援事業 H23～																																																																
取組実績	<p>○家庭や福祉関係等の機関と連携し、児童生徒の生活習慣の確立と学習習慣の定着を図る「まなびアドバイザー」【H23】、「まなび・生活アドバイザー」【H24～】を配置</p> <p>▶活動状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">23年度</th> <th colspan="2">24年度</th> <th colspan="2">25年度</th> </tr> <tr> <th>配置校</th> <th>支援件数</th> <th>配置校</th> <th>支援児童生徒数</th> <th>配置校</th> <th>支援児童生徒数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>15校</td> <td>251件</td> <td>15校</td> <td>277人</td> <td>17校</td> <td>446人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>18校</td> <td>335件</td> <td>18校</td> <td>534人</td> <td>18校</td> <td>693人</td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">26年度</th> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <th>配置校</th> <th>支援児童生徒数</th> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>17校</td> <td>462人</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>18校</td> <td>536人</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table> <p>○アドバイザーの活動を充実させるため、校内研修会等を開催し、交流や研究を実施するとともに、学識経験者等をスーパーバイザーとして委嘱し、個別ケースの相談や巡回指導を行うなど、支援体制を整備</p> <p>○アドバイザー連絡協議会を開催し、実践交流や理論・事例研修を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間回数</td> <td>4回</td> <td>3回</td> <td>4回</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table>		23年度		24年度		25年度		配置校	支援件数	配置校	支援児童生徒数	配置校	支援児童生徒数	小学校	15校	251件	15校	277人	17校	446人	中学校	18校	335件	18校	534人	18校	693人		26年度						配置校	支援児童生徒数					小学校	17校	462人					中学校	18校	536人						23年度	24年度	25年度	26年度	年間回数	4回	3回	4回	3回
	23年度		24年度		25年度																																																												
	配置校	支援件数	配置校	支援児童生徒数	配置校	支援児童生徒数																																																											
小学校	15校	251件	15校	277人	17校	446人																																																											
中学校	18校	335件	18校	534人	18校	693人																																																											
	26年度																																																																
	配置校	支援児童生徒数																																																															
小学校	17校	462人																																																															
中学校	18校	536人																																																															
	23年度	24年度	25年度	26年度																																																													
年間回数	4回	3回	4回	3回																																																													

<b>担 当 課</b>	学校教育課
--------------	-------

<b>取 組 名</b>	「ことばの力」育成プロジェクト H23～H24 (H23学力パワーアップ総合対策推進事業、H24学力充実推進事業)						
<b>取 組 実 績</b>	○発達段階に応じた「ことばの力」を育成するため、「ことばの力」育成プログラム開発校を指定し、子どもの発達段階に合わせた「ことばの力」育成のための教材や指導方法などの研究開発を実施 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府立高校</td> <td>8件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	府立高校	8件	2件
	23年度	24年度					
府立高校	8件	2件					
<b>担 当 課</b>	高校教育課						

<b>取 組 名</b>	京都式専科教育推進事業 H23～															
<b>取 組 実 績</b>	○小学校高学年児童の芸術教科（音楽、図画工作等）の授業において、中学校教員や高校教員による専科指導を実施 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校教員</td> <td>13校</td> <td>26校</td> <td>24校</td> <td>23校</td> </tr> <tr> <td>高校教員</td> <td>5校</td> <td>25校</td> <td>21校</td> <td>21校</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	中学校教員	13校	26校	24校	23校	高校教員	5校	25校	21校	21校
	23年度	24年度	25年度	26年度												
中学校教員	13校	26校	24校	23校												
高校教員	5校	25校	21校	21校												
<b>担 当 課</b>	教職員課・学校教育課															

<b>取 組 名</b>	大学の先生に学ぼう体験事業 H23～																														
<b>取 組 実 績</b>	○小中高校で大学の研究者等による出前授業を実施【H23～】 ▶出前授業実施状況 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>53校</td> <td>49校</td> <td>43校</td> <td>45校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>17校</td> <td>10校</td> <td>13校</td> <td>8校</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>20校</td> <td>16校</td> <td>22校</td> <td>19校</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>—</td> <td>2校</td> <td>2校</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>受講者</td> <td>8,858名</td> <td>7,988名</td> <td>9,525名</td> <td>8,282名</td> </tr> </tbody> </table> ○東日本大震災に関連する内容を充実し、また、理系に限らず文化系の分野にも専門分野を拡大（講座例：「地盤の液状化」「御土居教室」「こころとからだの声を聴いてみよう」など）【H23】 ○平成24年5月21日の金環日食の前には、通年の出前授業とは別に金環日食をテーマにした出前授業を87校で実施【H24】		23年度	24年度	25年度	26年度	小学校	53校	49校	43校	45校	中学校	17校	10校	13校	8校	高校	20校	16校	22校	19校	特別支援学校	—	2校	2校	2校	受講者	8,858名	7,988名	9,525名	8,282名
	23年度	24年度	25年度	26年度																											
小学校	53校	49校	43校	45校																											
中学校	17校	10校	13校	8校																											
高校	20校	16校	22校	19校																											
特別支援学校	—	2校	2校	2校																											
受講者	8,858名	7,988名	9,525名	8,282名																											
<b>担 当 課</b>	学校教育課・高校教育課																														

<b>取 組 名</b>	京都数学グランプリ H23～ 京都物理グランプリ
<b>取 組 実 績</b>	○京都大学と連携し、児童生徒の理科系科目に対する学習意欲を高め、科学的思考力の育成を図るため、数学・物理の大会「京都数学グランプリ」及び「京都物理グランプリ」を開催 ○1stステージではコンテスト形式で難問にチャレンジし、成績優秀者を表彰

○ 2ndステージでは大学教員によるゼミ形式での講義やグループでの探求実験、発表を行う「道場」を開催

【京都数学グランプリ】

▶ 1stステージ：京都数学コンテスト参加者

	23年度	24年度	25年度	26年度
中学校	29名	41名	66名	45名
高校	530名	454名	483名	546名

▶ 2ndステージ：数学オリンピック道場参加者

	23年度	24年度	25年度	26年度
中学校	23名	23名	16名	15名
高校	34名	83名	56名	89名

【京都物理グランプリ】

▶ 1stステージ：京都物理コンテスト参加者

	23年度	24年度	25年度	26年度
中学生	9名	4名	3名	1名
高校生	68名	79名	89名	62名

▶ 2ndステージ：物理チャレンジ道場参加者

	23年度	24年度	25年度	26年度
中学生	4名	2名	4名	1名
高校生	17名	22名	18名	16名

**担当課** 高校教育課

**取組名** 理科支援員の配置 H23～H24  
(H23京の子ども学力充実推進事業、H24学力充実推進事業)

**取組実績** ○小学校5・6年生を対象に、観察・実験等の計画立案や教材開発等を支援するため、大学(院)生・退職教員等を「理科支援員」として学校に配置

▶配置状況

	23年度	24年度
小学校	37校	49校

**担当課** 学校教育課

## 重点目標2 規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ

取組名	道徳教育の推進 H23～															
取組実績	<p>○京都府独自の心の教育学習資料集「京の子ども 明日へのとびら」を府内全小中学生に配付し、全校で活用</p> <p>▶道徳以外の教科（国語・社会・生活等）での活用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>59校</td> <td>57校</td> <td>62校</td> <td>6月確定</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>11校</td> <td>7校</td> <td>8校</td> <td>6月確定</td> </tr> </tbody> </table> <p>○小中学校及び高校における道徳教育を充実させるための研修用テキスト「道徳教育の進め方 京都式ハンドブック」を作成し、府内全教職員に配付【H24】</p>		23年度	24年度	25年度	26年度	小学校	59校	57校	62校	6月確定	中学校	11校	7校	8校	6月確定
	23年度	24年度	25年度	26年度												
小学校	59校	57校	62校	6月確定												
中学校	11校	7校	8校	6月確定												
担当課	学校教育課															

取組名	高校生さわやかハート応援プロジェクト H23～H24 (府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業)						
取組実績	<p>○豊かな人間性を兼ね備えた高校生の育成を目的に、清掃ボランティア活動やあいさつ運動など、新学習指導要領で重視されている「伝統や文化に関する教育」「道徳教育」「体験活動」に関する取組を行う府立学校を支援</p> <p>▶取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校</td> <td>12校</td> <td>13校</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	高校	12校	13校
	23年度	24年度					
高校	12校	13校					
担当課	高校教育課						

取組名	古典の日推進事業 H23～
取組実績	<p>○児童生徒が古典に親しみ、日本語の美しさを感じることで言語力の向上を図るため、古典の日（11月1日）を中心に、各教育局において小中学生による古典作品等の朗読・暗唱大会を実施</p> <p>▶各局の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乙訓教育局 <ul style="list-style-type: none"> <li>例年 古典作品等の朗読・暗唱 乙訓地方独自の読書推進「家族ふれあい読書新聞」表彰</li> <li>23年度 「江戸落語」鑑賞</li> <li>24年度 能楽師による「狂言語」鑑賞</li> <li>25年度 古典落語鑑賞</li> <li>26年度 読書ボランティア団体による読み聞かせ、古典落語鑑賞</li> </ul> </li> <li>・山城教育局 <ul style="list-style-type: none"> <li>例年 「読もう！語ろう！伝え合おう！」朗読、暗唱発表会</li> <li>23年度 古典の広場「京ことば百人一首～いにしえの世界へ～」 (成美大学 竹内准教授による講演鑑賞)</li> <li>24年度 古典の広場「枕草子・平家物語」朗読・鑑賞</li> <li>25年度 古典の広場「朗読劇・よだかの星」朗読・鑑賞</li> </ul> </li> </ul>

- 26年度 古典の広場「ちしや医師」鑑賞
- ・南丹教育局
    - 23年度 落語鑑賞、出雲風流花踊り  
北桑田高校生による司会、美山中学校生徒「能楽体験」発表
    - 24年度 民話や伝説の朗読、高校生による吟詠剣詩舞等  
亀岡高校競技カルタライセンス保持者による解説・実演
    - 25年度 伝統芸能や地元の伝承の発表、中学生による吟詠剣詩舞等  
南丹高校書道部による書道パフォーマンス
    - 26年度 伝統芸能の発表、中学生による吟詠剣詩舞等
  - ・中丹教育局
    - 例年 由良川元気サミット及び中丹府立学校文化祭  
詩吟や書道パフォーマンス等の舞台発表
    - 23年度 地域の昔話等発表
    - 24年度 茶道体験コーナー
    - 25年度 古典作品、民話の舞台発表、茶道体験
    - 26年度 古典作品、民話の舞台発表、茶道体験
  - ・丹後教育局
    - 23年度 狂言「柿山伏」発表、浦島太郎伝説絵本朗読  
百人一首大会（散らし取り）
    - 24年度 加悦谷高校生による書道パフォーマンス  
冷泉貴実子府教育委員による講演「百人一首をあじわう・たのしむ」  
参加者と府教育委員との交流「古典についての取組や思い」  
百人一首大会（散らし取り）
    - 25年度 「源氏物語」の語りと演奏による公演  
古典作品や地元の伝承の暗唱・朗読
    - 26年度 古典作品の暗唱・朗読

▶参加人数

	23年度	24年度	25年度	26年度
乙訓	約 780名	約 780名	約 830名	約 400名
山城	約 420名	約 540名	約 480名	約 480名
南丹	約 500名	約 620名	約 730名	約 400名
中丹	約1,450名	約2,500名	約2,600名	約2,500名
丹後	約 130名	約 550名	約 320名	約 350名

**担 当 課** 学校教育課

**取 組 名** 文化の力をはぐくむ「京育」推進事業 H23～

**取 組 実 績** ○府立高校の文化系部活動を指定し、専門家による指導や高校生が地域の小中学校の文化祭等に参加し、文化の魅力を伝えるなど、部活動の活性化や伝統文化の次世代への継承を図る

	23年度	24年度	25年度	26年度
部 門	13部門	13部門	13部門	13部門
指定校数	23校	22校	24校	24校

○京都府高等学校総合文化祭の開催

・時 期 9月中旬～12月中旬

	23年度	24年度	25年度	26年度
参加校	46校	46校	46校	46校

《指定文化部を含む文化部生徒が参加した事業》

○第26回国民文化祭・京都2011への参加【H23】

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全府立高校の生徒約5,000名が本大会に、約2,200名の生徒が関連事業に参加</li> <li>・約半数が出演・運営補助・観客として参加し、残り半数が作品応募・物品作成等で参加</li> <li>▶府主催事業参加状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>都大路ホープ・ソングパレード応援隊：3校</li> <li>都大路ホープ・ソングパレード参加：7校（バトン・吹奏楽）</li> <li>総合フェスティバル開会式：13校（書道パフォーマンス・能・迎え花等）</li> <li>総合フェスティバル閉会式：7校（高校生おもてなし隊として受付、案内等）</li> </ul> </li> <li>○「京都府高等学校芸術文化連盟25周年記念発表会」の開催【H24】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化部を含む文化部生徒が参加</li> <li>・参加（校・者）数・・・確認中</li> </ul> </li> <li>○「全国高校生伝統文化フェスティバル」（文化環境部）と「優秀校発表会」の合同開催【H24～】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時 期 12月</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度 (第1回)</th> <th>25年度 (第2回)</th> <th>26年度 (第3回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加校</td> <td>3校</td> <td>8校</td> <td>5校</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>○「第1回全国高校生茶道交流会」の開催【H25】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加（校・者）数・・・8校</li> </ul> </li> </ul>		24年度 (第1回)	25年度 (第2回)	26年度 (第3回)	参加校	3校	8校	5校
	24年度 (第1回)	25年度 (第2回)	26年度 (第3回)						
参加校	3校	8校	5校						
<b>担 当 課</b>	高校教育課								

<b>取 組 名</b>	高校生伝統文化事業 H23～																				
<b>取 組 実 績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本・郷土の伝統文化を尊重する態度を育成するため、京都府にゆかりの深い茶道・華道をととした伝統文化の学習を実施</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茶 道</td> <td colspan="4">全府立高校で実施</td> </tr> <tr> <td>華 道</td> <td>6校</td> <td>14校</td> <td>18校</td> <td>23校</td> </tr> <tr> <td>その他の伝統文化</td> <td>—</td> <td>5校</td> <td>17校</td> <td>21校</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	茶 道	全府立高校で実施				華 道	6校	14校	18校	23校	その他の伝統文化	—	5校	17校	21校
	23年度	24年度	25年度	26年度																	
茶 道	全府立高校で実施																				
華 道	6校	14校	18校	23校																	
その他の伝統文化	—	5校	17校	21校																	
<b>担 当 課</b>	高校教育課																				

<b>取 組 名</b>	文化財対策事業 H23～																																													
<b>取 組 実 績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○府内の有形・無形文化財を指定等し、地域活性化等に向けた活用を推進</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定・登録案件数</td> <td>702件</td> <td>712件</td> <td>721件</td> <td>726件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財保護に関する普及啓発事業として、文化財の発掘現場等を公開</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>8,260名</td> <td>10,983名</td> <td>11,206名</td> <td>11,688名</td> </tr> <tr> <td>重要文化財</td> <td>5現場</td> <td>4現場</td> <td>6現場</td> <td>4現場</td> </tr> <tr> <td>建造物修理現場</td> <td>4,259名</td> <td>5,837名</td> <td>4,366名</td> <td>3,395名</td> </tr> <tr> <td>埋蔵文化財 発掘調査現場 (恭仁宮跡)</td> <td>140名</td> <td>170名</td> <td>200名</td> <td>180名</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各郷土資料館において出前授業を実施</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	指定・登録案件数	702件	712件	721件	726件		23年度	24年度	25年度	26年度	参加者数	8,260名	10,983名	11,206名	11,688名	重要文化財	5現場	4現場	6現場	4現場	建造物修理現場	4,259名	5,837名	4,366名	3,395名	埋蔵文化財 発掘調査現場 (恭仁宮跡)	140名	170名	200名	180名		23年度	24年度	25年度	26年度					
	23年度	24年度	25年度	26年度																																										
指定・登録案件数	702件	712件	721件	726件																																										
	23年度	24年度	25年度	26年度																																										
参加者数	8,260名	10,983名	11,206名	11,688名																																										
重要文化財	5現場	4現場	6現場	4現場																																										
建造物修理現場	4,259名	5,837名	4,366名	3,395名																																										
埋蔵文化財 発掘調査現場 (恭仁宮跡)	140名	170名	200名	180名																																										
	23年度	24年度	25年度	26年度																																										

	山城郷土資料館	33回 2,219名	39回 2,480名	30回 4,239名	36回 5,675名
	丹後郷土資料館	32回 1,642名	30回 2,496名	20回 2,401名	19回 2,438名
<b>担 当 課</b>	文化財保護課				

### 重点目標3 たくましく健やかな身体をはぐくむ

<b>取組名</b>	京の未来っ子健康・体力増進事業 H23～										
<b>取組実績</b>	<p>○小学校体育授業等における先進的な取組を進めるため、体力向上推進プロジェクト実践校を指定し、出前授業等を実施【H23～】</p> <p>▶実践校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定校数</td> <td>10校</td> <td>11校</td> <td>11校</td> <td>12校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○発達段階で身に付けておくべき身体動作の指標「京の子ども元気なからだスタンダード」（対象学年：小学校3・4年生）の実践推進校での取組をまとめた「実践事例集」を作成し、全小学校に配付【H23】</p> <p>○スタンダードの継続的な活用を推進するため、小学校5・6年生版「京の子ども元気なからだスタンダードPLUS+」を作成し、全小学校に配付【H24】</p> <p>○プロジェクト実践校での取組をまとめた「京の子ども体力向上推進プロジェクト実践校報告書」を作成し、全小学校に配付【H25】</p> <p>○スタンダードの活用推進と体育授業の指導方法の改善を図るため、小学校教員を対象に「スタンダード実技研修会」等を開催</p> <p>▶取組状況</p> <p>23年度： 「京の子ども体力向上推進フォーラム」を2回開催 （対象：スポーツ推進委員・府総合型地域SC関係者等）</p> <p>24年度 「スタンダード実技研修会」を3回開催（対象：小学校教員）</p> <p>25年度 「スタンダード実技研修会」を4回開催（対象：小学校教員）</p> <p>26年度 「スタンダード実技研修会」を3回開催（対象：小学校教員） 「京の子ども体力向上推進プロジェクト実践校連絡協議会」を2回開催（対象：実践校教員、関係教委等）</p>	年 度	23年度	24年度	25年度	26年度	指定校数	10校	11校	11校	12校
年 度	23年度	24年度	25年度	26年度							
指定校数	10校	11校	11校	12校							
<b>担当課</b>	保健体育課										

<b>取組名</b>	競技スポーツ振興事業 H23～																									
<b>取組実績</b>	<p>○ジュニア層に対し、各競技のトップアスリート（オリンピック・国際競技大会出場者等）による実技指導を実施</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種目数</td> <td>22種目</td> <td>19種目</td> <td>19種目</td> <td>20種目</td> </tr> <tr> <td>会場数</td> <td>25会場</td> <td>20会場</td> <td>19会場</td> <td>20会場</td> </tr> </tbody> </table> <p>○トップアスリートへのスポーツ医・科学サポート等の支援を実施</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援人数</td> <td>775名</td> <td>678名</td> <td>688名</td> <td>884名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○国体での上位入賞を目指し、強化活動を行う競技団体に対して支援を実施（40団体）【H23～】</p> <p>○競技力強化を目指した運動部や、一貫指導システム構築に取り組む競技団体</p>		23年度	24年度	25年度	26年度	種目数	22種目	19種目	19種目	20種目	会場数	25会場	20会場	19会場	20会場		23年度	24年度	25年度	26年度	支援人数	775名	678名	688名	884名
	23年度	24年度	25年度	26年度																						
種目数	22種目	19種目	19種目	20種目																						
会場数	25会場	20会場	19会場	20会場																						
	23年度	24年度	25年度	26年度																						
支援人数	775名	678名	688名	884名																						

	<p>に対して医・科学サポートや若手のコーチ育成等を支援</p> <p>○将来トップアスリートとして国際大会でのメダルを目指すとともに、スポーツを通じて社会貢献できる人材を発掘・育成する「京の子どもダイヤモンドプロジェクト」において選考した「京都きつず」に対して育成プログラムを展開【H24～】</p> <p>▶「京都きつず」認定人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9人</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>	24年度	25年度	26年度	9人	8人	8人
24年度	25年度	26年度					
9人	8人	8人					
<b>担 当 課</b>	保健体育課						

<b>取 組 名</b>	日本代表・トップアスリート交流事業 H24～
<b>取 組 実 績</b>	<p>○本府に招いたナショナルチームの選手と児童・生徒等の交流を通じて、ジュニア層の育成を進め、中長期的な競技力の向上を図る取組を実施</p> <p>▶取組状況</p> <p>キャンプ地を府内に誘致し、児童・生徒等に見学会や実技講習会、交流試合等を実施</p> <p>24年度：6競技7会場 25年度：9競技9会場 26年度：4競技4会場</p>
<b>担 当 課</b>	保健体育課

<b>取 組 名</b>	運動部活動振興事業 H23～																							
<b>取 組 実 績</b>	<p>○運動部活動の活性化を図るとともに、校務の多忙化や練習等による運動部顧問の負担を軽減し、学校の円滑な組織運営を支援するため、地域のスポーツ指導者を中学校・高校に派遣</p> <p>▶派遣状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中 学 校</td> <td>53校</td> <td>55校</td> <td>52校</td> <td>46校</td> </tr> <tr> <td>53部</td> <td>63部</td> <td>64部</td> <td>62部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高 校</td> <td>29校</td> <td>33校</td> <td>32校</td> <td>34校</td> </tr> <tr> <td>52部</td> <td>63部</td> <td>66部</td> <td>68部</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	中 学 校	53校	55校	52校	46校	53部	63部	64部	62部	高 校	29校	33校	32校	34校	52部	63部	66部	68部
	23年度	24年度	25年度	26年度																				
中 学 校	53校	55校	52校	46校																				
	53部	63部	64部	62部																				
高 校	29校	33校	32校	34校																				
	52部	63部	66部	68部																				
<b>担 当 課</b>	保健体育課																							

<b>取 組 名</b>	食育推進事業 H23～															
<b>取 組 実 績</b>	<p>○教育活動全体を通じた食育を組織的、計画的に推進するため、全ての学校で「食に関する指導計画」を作成</p> <p>○学校の食育担当者等を対象にした研修会を開催（府内5会場）</p> <p>○研究の推進及びその成果の普及を図るため、食に関する指導充実事業実践中心校等を指定し食育の指導モデルを研究</p> <p>▶研究指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町数</td> <td>9市町</td> <td>11市町</td> <td>11市町</td> <td>11市町</td> </tr> <tr> <td>指定校数</td> <td>12校</td> <td>12校</td> <td>12校</td> <td>12校</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	市町数	9市町	11市町	11市町	11市町	指定校数	12校	12校	12校	12校
	23年度	24年度	25年度	26年度												
市町数	9市町	11市町	11市町	11市町												
指定校数	12校	12校	12校	12校												

	<p>○栄養教諭を中核とした食育推進事業として推進指定2地域で実践研究を行うとともに、指定地域の報告として、教職員、市町（組合）教育委員会等を対象とした食育研修会を実施</p> <p>【H23】木津川市・宮津市【H24】木津川市・京丹波町【H25】京丹波町・福知山市</p> <p>○スーパー食育スクール事業として中学校1校を指定し、食育の多角的な効果について科学的データに基づく検証を行う先進的な取組を行うとともに、実践報告として、教職員、市町（組合）教育委員会等を対象とした食育研修会を実施</p> <p>【H26】福知山市立日新中学校</p> <p>▶食育研修会実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>94名</td> <td>75名</td> <td>96名</td> <td>127名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○中学校の食育担当者等を対象とした研修会を開催</p> <p>▶中学校食育研修会実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会場数</td> <td>5会場</td> <td>2会場</td> <td>2会場</td> <td>1会場(スーパー食育スクール研修会に兼ねる)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○食育の教科横断的な指導の充実を図るため「関連教科等における食に関する指導（小・中学校版）【H24】（高等学校版）【H25】」を作成</p>		23年度	24年度	25年度	26年度	参加者数	94名	75名	96名	127名		23年度	24年度	25年度	26年度	会場数	5会場	2会場	2会場	1会場(スーパー食育スクール研修会に兼ねる)
	23年度	24年度	25年度	26年度																	
参加者数	94名	75名	96名	127名																	
	23年度	24年度	25年度	26年度																	
会場数	5会場	2会場	2会場	1会場(スーパー食育スクール研修会に兼ねる)																	
<b>担 当 課</b>	保健体育課																				

## 重点目標4 一人一人を大切に、個性や能力を最大限に伸ばす

取組名	今後の府立高校の在り方・高校教育制度改革について H23～
取組実績	<p>○府立高校定時制・通信制教育の在り方検討～京都フレックス学園構想～</p> <p>23年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「府立高校定時制・通信制教育の在り方懇談会」（計5回） 学校関係者の他、学識経験者、保護者、企業関係者など幅広い分野の方により、今後の定時制・通信制教育の在り方を検討</li> <li>・座長による定時制高校生からの意見聴取等実施</li> <li>・「今後の求められる定時制・通信制教育について」提言</li> <li>・提言を受け、府教育委員会として、新しいタイプの高校を開設する「京都フレックス学園構想」打ち出し</li> </ul> <p>24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市地区新設高校(27年度開校予定)校舎等基本・実施設計業務実施</li> </ul> <p>25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市地区新設高校校舎等新築工事着工</li> <li>・「京都市地区新設高等学校開設準備委員会」を設置し、具体的な教育内容等を検討</li> <li>・新設高校の基本コンセプトや学習システムなどの説明や個別相談などを行う「新設高校説明会」開催</li> </ul> <p>26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月定例府議会における「京都府立高等学校等設置条例」の議決を受け、9月1日に開校</li> <li>・「平成27年度京都府立清明高等学校特別入学者選抜」要項を9月に公表</li> <li>・学校の概要、教育課程、選抜要項等の詳細についての説明会、個別相談会を実施 京都市・乙訓地域公立高校合同説明会、学校説明会・個別相談会（1回） 中学校教員等対象説明会（計3回）、個別相談会（計4回）</li> <li>・「平成27年度京都府立清明高等学校特別入学者選抜」実施 A方式：83名受検→48名合格、B方式：203名受検→72名合格</li> <li>・京都市地区新設高校校舎等新築工事完成</li> </ul> <p>○京都市・乙訓地域公立高等学校教育制度の検討</p> <p>23年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「京都市・乙訓地域公立高等学校教育制度に係る懇談会」（計3回） 保護者や学識経験者など幅広い方により、今後の京都市・乙訓地域公立高校の教育制度・入試制度を検討 生徒・保護者1万1千人に対する意識調査実施</li> </ul> <p>24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「京都市・乙訓地域公立高等学校教育制度に係る懇談会」（計3回） 「今後の京都市・乙訓地域公立高等学校教育制度の在り方について（まとめ）」を府・京都市両教育長に提出</li> <li>・同まとめを受けて、関係機関の意見も聞きながら、京都市教育委員会と協議を重ね、制度の見直し案を策定。この見直し案について、府民説明会を開催するとともに、府民を対象にしたパブリックコメントを実施</li> <li>・同パブリックコメントの意見も踏まえた新制度案を策定し、12月府議会に報告し、府議会の意見も踏まえ、平成26年度入学生から、総合選抜制度の廃止、通学圏統合、類・類型制度廃止などの新制度について、定例教育委</li> </ul>

員会で議決

- ・新制度の概要をお知らせする保護者説明会（5日間で計8回）を実施するとともに、乙訓地域の中学校主催による進路説明会（8中学校各1回）で説明

25年度

- ・説明会開催、広報リーフレットなどを通じて広く周知
- ・定例教育委員会において、26年度入学生の募集定員や新しい入学者選抜制度に係る関係規定の改正について議決後、「平成26年度京都府公立高等学校入学者選抜実施要項」を発出
- ・前期選抜、特別入学者選抜、中期選抜、後期選抜を実施

26年度

- ・6月に府内公立高校（全日制課程）の1年生全員とその保護者に新しい制度についてのアンケートを実施  
（調査対象者数：26,404人、回答者数：20,398人）
- ・6月定例府議会文教常任委員会で検証結果を報告

### ○口丹・中丹・丹後通学圏の高校教育制度見直し

23年度

- ・各学校の創意工夫による特色ある学校づくりの中で、学力伸長、個性伸長の取組をより一層推進できるよう、口丹、中丹、丹後通学圏の府立高校普通科の類・類型を発展的に解消

### ○府立高校の魅力づくり

24年度

- ・「府立高校特色化推進プラン検討会議」（計4回）  
学校現場、学識経験者、保護者、企業など幅広い分野から委員を構成  
高校教育の大きな転換期を迎え、府立高校の教育改革を積極的に推進する  
観点から、「府立高校全体のレベルアップ」「各府立高校の特色化の推進」  
を柱とする施策について、アクションプランにより検討
- ・「府立高校特色化推進プラン（中間案）」を策定し、府民の意見を募集する  
パブリックコメント実施
- ・「府立高校特色化推進プラン～魅力あふれる46の特色～」決定
- ・同プランに基づく施策について、25年度当初予算に計上し事業化するとともに、今後更なる府立高校の特色化を推進

25年度

- ・NPOによる東舞鶴高校でのスクールバス運行、洛水高校女子ラクロス部や向陽高校女子サッカー部の創設、農業科設置校3校による台湾への農業研修、民間手法による広報活動の刷新等を具体化

### ○府立高校農業教育の在り方の検討

24年度

- ・「京都府産業教育審議会」（計？回）及び「農業教育に関する専門部会」（計6回）  
今日の社会・産業界の変化や進展、生徒の学習希望や進路意識の変化に対応した府立高校の農業学科における教育課程及び教育内容の在り方、農業教育の充実策についての専門的な調査研究を実施し「まとめ」提出
- ・専門部会からの報告を受け、京都府産業教育審議会において協議の上、「府立高校における農業教育の在り方について」を提言

### ○新しい時代に対応した職業教育の検討

25年度

- ・口丹地域における工業教育の充実を図るため、地元企業のサポートも受けるものづくりに関するコースを南丹高校に27年度から新設することとし、

	<p>必要な教育環境整備のための予算を26年度当初予算に計上</p> <p>26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南丹高校総合学科にもものづくりに関する系列（テクニカル工学系列）を27年度から設置することとし、工業実習棟を新設</li> <li>・田辺高校の工業に関する学科を改編（27年度入学生より）</li> </ul> <p>○大学進学に特化した特進コースの設置</p> <p>25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の将来を見据え、それぞれの希望や能力・適性を踏まえた進路実績を図るため、国公立大学や難関私立大学への進学に特化した特進コースを綾部高校普通科に26年度から新設することを決定</li> </ul> <p>○府立中学校入学者選抜制度の見直し</p> <p>24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「抽選による合格者決定方式」について、受験生が自己実現に向けて努力したことに対して一定の範囲で報いることが必要であることから、25年度選抜から、府立中学校2校で抽選による合格者決定方式の廃止を決定</li> </ul> <p>○新たな中高一貫教育校の設置</p> <p>25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例教育委員会において、府内3校目となる府立中学校を併設した中高一貫教育を福知山高校に導入することを協議</li> <li>・26年度当初予算において、福知山高校で中高一貫を実施するために必要な教育環境整備のための予算を計上</li> </ul> <p>26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月定例府議会における「京都府立高等学校等設置条例」の議決を受け、9月1日に開校</li> <li>・「平成27年度京都府立中学校入学者選抜」要項を9月に公表</li> <li>・学校概要、教育内容、選抜要項等の詳細についての説明会を実施（計3回）</li> <li>・「平成27年度京都府立中学校入学者選抜」実施：113名受検→40名合格</li> <li>・福知山高校校舎等整備事業完成</li> </ul>
<b>担 当 課</b>	高校教育課

<b>取 組 名</b>	府立高校特色化事業 H25～										
<b>取 組 実 績</b>	<p>○府立高校のさらなるレベルアップを図り、生徒一人一人に応じた教育と時代の変化に対応した教育を実践するため、各府立高校の特色化を推進</p> <p>○全府立高校が、それぞれの学校の特色に応じた事業を企画し応募</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>取組状況</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スーパーサイエンスネットワーク京都</td> <td>8校</td> </tr> <tr> <td>グローバルネットワーク京都</td> <td>8校</td> </tr> <tr> <td>スペシャリストネットワーク京都</td> <td>6校</td> </tr> <tr> <td>京都フロンティア校</td> <td>24校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○専門の外部人材による研究支援、論文コンテストの実施、民間企業との連携、地域貢献活動や学校独自の学力向上の取組等、様々な取組を実施</p>	取組状況	内訳	スーパーサイエンスネットワーク京都	8校	グローバルネットワーク京都	8校	スペシャリストネットワーク京都	6校	京都フロンティア校	24校
取組状況	内訳										
スーパーサイエンスネットワーク京都	8校										
グローバルネットワーク京都	8校										
スペシャリストネットワーク京都	6校										
京都フロンティア校	24校										
<b>担 当 課</b>	高校教育課										

<b>取 組 名</b>	人権教育の推進 H23～
--------------	--------------

<b>取 組 実 績</b>	<p>○17年度から5か年計画で作成してきた「人権学習資料集」を活用した、効果的なカリキュラムをまとめた「人権学習実践事例集」を作成・配布 小学校編9,000部【H23】、中学校編7,000部【H24】、 高等学校編7,500部【H25】</p> <p>○教職員の自己研鑽や校内研修に活用できる研修教材や研修方法を集めた「教職員人権研修ハンドブック（17,500部）」を作成・配布【H26】</p> <p>○学校、家庭、地域社会が一体となった教育上の総合的な研究や、学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究を実施</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）人権教育総合推進地域事業 指定地域：亀岡市（詳徳中学校、安詳小学校、詳徳小学校）【H23】 京丹後市（大宮中学校、大宮第一小学校、大宮第二小学校、大宮第三小学校）【H24】 京丹後市（大宮中学校、大宮第一小学校、大宮南小学校）【H25】 京丹後市（大宮中学校、大宮第一小学校、大宮南小学校）【H26】</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）人権教育研究指定校事業 指定校：府立綾部高校【H23】 府立南陽高校【H24～H25】 府立木津高校【H26】</p> <p>○市町村や地域で行われる人権学習に活用できる指導者用の資料を作成するとともに、人権教育に関する視聴覚教材を整備し市町村や学校等への貸出を実施</p> <p>○教職員を対象とした人権研修を実施</p> <p style="padding-left: 20px;">▶取組内容及び参加者数</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都府総合教育センターにおける研修</td> <td>1,280名</td> <td>1,244名</td> <td>1,383名</td> <td>1,641名</td> </tr> <tr> <td>京都教育大学への派遣研修</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>独立行政法人教員研修センターでの研修</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="padding-left: 20px;">※この他、学校において全教職員を対象とした人権研修を実施</p> <p>○社会教育関係者や学校教育関係者、社会教育関係団体を対象とした人権教育指導者研修会を開催</p> <p style="padding-left: 20px;">▶研修会開催状況</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>2回/年</td> <td>2回/年</td> <td>2回/年</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>111名</td> <td>103名</td> <td>87名</td> <td>97名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○民間企業と連携し、毎月（年間12回）府内の小中及び府立学校の学校非公式サイトでの監視を実施し、有害情報を検出し、削除するとともに、その情報を基に生徒指導等を実施</p> <p style="padding-left: 20px;">▶有害情報件数</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リスクレベル高</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>リスクレベル中</td> <td>177件</td> <td>213件</td> <td>340件</td> <td>260件</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	京都府総合教育センターにおける研修	1,280名	1,244名	1,383名	1,641名	京都教育大学への派遣研修	3名	3名	2名	2名	独立行政法人教員研修センターでの研修	3名	3名	3名	2名		23年度	24年度	25年度	26年度	回数	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	参加者	111名	103名	87名	97名		23年度	24年度	25年度	26年度	リスクレベル高	1件	0件	0件	0件	リスクレベル中	177件	213件	340件	260件
	23年度	24年度	25年度	26年度																																															
京都府総合教育センターにおける研修	1,280名	1,244名	1,383名	1,641名																																															
京都教育大学への派遣研修	3名	3名	2名	2名																																															
独立行政法人教員研修センターでの研修	3名	3名	3名	2名																																															
	23年度	24年度	25年度	26年度																																															
回数	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年																																															
参加者	111名	103名	87名	97名																																															
	23年度	24年度	25年度	26年度																																															
リスクレベル高	1件	0件	0件	0件																																															
リスクレベル中	177件	213件	340件	260件																																															
<b>担 当 課</b>	学校教育課・社会教育課																																																		

<b>取 組 名</b>	特別支援教育サポート拠点事業 H23～ （特別支援教育総合推進事業）
--------------	---------------------------------------

<b>取組実績</b>	<p>○府立宇治支援学校内に設置した「京都府スーパーサポートセンター（SSC）」において、京都府総合教育センター、各地域支援センター、盲学校・聾学校と連携を図りながら、子ども・保護者・教員・地域を重層的に支援【H23～】</p> <p>○特別支援教育に係る研修・研究の拠点として、宇治支援学校の授業等を活用した教員への体験型専門研修や自閉症等に関する研究を実施 （【H23】11回480名、【H24】11回463名、【H25】11回627名、【H26】10回481名）</p> <p>○府全体の専門性・支援力向上を図るため、地域支援コーディネーター研究協議会を開催【H23～】</p> <p>○各地域支援センターをネットワークで結ぶ拠点として、医師・作業療法士等の専門家で構成した「府専門家チーム（H24までスーパーサポートチーム）」を活用した相談支援を実施 （【H23】145件、【H24】119件、【H25】163件、【H26】125件）</p> <p>○小中高校等主催の研修会に講師を派遣 （【H23】61件、【H24】66件、【H25】86件、【H26】81件）</p> <p>○府南部地域の視覚・聴覚障害支援の拠点として、就学前の定期教育相談や地域の小中学校に在籍する児童生徒、保護者等への相談支援を実施 （【H23】159件、【H24】570件、【H25】700件、【H26】1,133件）</p>
<b>担当課</b>	特別支援教育課

<b>取組名</b>	<b>特別支援教育充実事業 H23～</b>
<b>取組実績</b>	<p>○LD、ADHD等の発達障害児童生徒の支援体制整備のため、特に支援が必要な児童生徒が在籍する小中学校に非常勤講師を配置 ▶【H23】61校・61名（京都市除く）、81校・82名（京都市） 【H24】61校61名（京都市除く）、75校81名（京都市） 【H25】61校61名（京都市除く）、82校78名（京都市） 【H26】61校61名（京都市除く）、79校72名（京都市）</p> <p>○特別支援教育の校内体制を整備するため、府内全小中学校において特別支援教育コーディネーターを指名【H23～】</p> <p>○通常の学級に在籍した上で障害に応じた教科指導等を実施するシステムとして、国の「特別支援教室構想」を参考とした新たな校内支援システムの構築と運用に向け、小中学校にて非常勤講師を活用した実践研究を実施【H23～H25】</p>
<b>担当課</b>	教職員課・特別支援教育課

<b>取組名</b>	<b>府立高校特別支援教育支援員配置事業 H25～</b>
<b>取組実績</b>	○発達障害等のある生徒への支援体制の整備のため、府立高校2校に特別支援教育支援員2名を配置【H25】2校2名【H26】2校2名
<b>担当課</b>	教職員課・特別支援教育課・高校教育課

<b>取組名</b>	<b>地域等連携総合推進事業 H23</b> <b>地域等連携推進事業（特別支援教育総合推進事業）H24～</b>
<b>取組実績</b>	○個々の児童生徒の教育的ニーズに合わせた相談支援体制の充実を図るため、全特別支援学校に専任の地域支援コーディネーターを配置

	<p>(29名)【H23～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援学校に設置された地域支援センターにおいて、幼児児童生徒の障害や発達に関して来校相談や巡回による相談を実施        (【H23】約5,500件、【H24】5,834件、【H25】5,959件、【H26】5,077件)</li> <li>○地域支援センターにおいて、小中学校や高校等の教員専門性向上のため研修支援(講師派遣等)を実施        (【H23】289回、【H24】241回、【H25】241回、【H26】174件)</li> <li>○特別支援教育の校内体制を整備するため、全府立学校において特別支援教育コーディネーターを指名【H23～】</li> <li>○「乳幼児期から成人まで一貫した支援体制の構築」に向け、「特別支援教育グランドモデル地域」における成果を府内全域に波及(相談支援ファイルを活用)</li> <li>○府立高校において、障害に応じた指導等について実践研究を実施【H23～H24】</li> <li>○府立特別支援学校において、自閉症に対応した教育課程の編成等についての実践研究を実施【H23】</li> <li>○これまでの各教育局管内等における取組や実践研究等の成果をまとめた「特別支援教育活用ガイド」冊子を作成【H23】</li> <li>○府立特別支援学校において、発達障害のある生徒へのキャリア教育の充実に係る実践研究を実施(文部科学省委託事業「特別支援教育総合推進事業」)        【H24】</li> <li>○府の特別支援教育に係る実践・取組等の概要を紹介したリーフレットを作成し、教育、福祉、労働等関係機関へ配付(215箇所)【H24】</li> <li>○府の特別支援教育体制整備の推進に係る取組概要を紹介した冊子を作成し、教育、福祉、労働等関係機関へ配付(448箇所)【H25】</li> <li>○インクルーシブ教育システム構築の推進等に係る実践研究(文部科学省委託事業)を、府立学校等において実施【H25～】           <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前の早期からの教育相談・支援体制構築</li> <li>・特別支援学校ネットワーク構築</li> <li>・発達障害理解推進拠点</li> <li>・キャリア教育・就労支援等の充実</li> <li>・高校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育研究開発</li> <li>・特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究</li> </ul> </li> </ul>
<b>担 当 課</b>	特別支援教育課

<b>取 組 名</b>	就労支援事業 H23～																				
<b>取 組 実 績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害のある生徒の自立と社会参加を促進するため、特別支援学校高等部の職業教育の充実に図るとともに、積極的な企業訪問や啓発を通して、職場開拓や実習先の確保に取り組む        (実習回数【H23】134回、【H24】223回、【H25】216回、【H26】168回)</li> <li>○府民との交流や企業の理解促進を図るため、大丸京都店において、「ふれあい・心のステーション」を開催。全府立特別支援学校が参加し、生徒自らが製作品(窯業・木工・縫製・農産品等)の販売実習・実演を実施        ▶実施状況           <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者</td> <td>約5,000名</td> <td>約5,300名</td> <td>約5,000名</td> <td>約5,000名</td> </tr> <tr> <td>販売点数</td> <td>5,975点</td> <td>6,175点</td> <td>6,891点</td> <td>6,745点</td> </tr> <tr> <td>売上</td> <td>2,057,350円</td> <td>2,201,320円</td> <td>2,155,950円</td> <td>2,003,600円</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>○進路指導担当教員等がハローワーク等と連携し、新しい職場の開拓や現場実習の受入先の確保に一層取り組めるよう、非常勤講師を配置(10校)【H23～】</li> </ul>		23年度	24年度	25年度	26年度	来場者	約5,000名	約5,300名	約5,000名	約5,000名	販売点数	5,975点	6,175点	6,891点	6,745点	売上	2,057,350円	2,201,320円	2,155,950円	2,003,600円
	23年度	24年度	25年度	26年度																	
来場者	約5,000名	約5,300名	約5,000名	約5,000名																	
販売点数	5,975点	6,175点	6,891点	6,745点																	
売上	2,057,350円	2,201,320円	2,155,950円	2,003,600円																	

	<p>○特別支援学校高等部生徒の就労を支援するため、「はあとふるジョブカフェ」や労働局等の関係機関と連携し、職業実習の受入れ企業の拡充を図った。 【H23～】</p> <p>○高等部職業教育の充実検討のため、有識者会議を開催し、時代の変化に対応した新たな学科の設置等に係る意見を聴取（5回）【H25】</p> <p>○特別支援学校高等部卒業後の職業的自立を促進するため、労働部局と連携した「就労支援コーディネーター」3名の配置や職業教育の充実に関わる実践研究を実施【H26～】</p>
<b>担 当 課</b>	教職員課・特別支援教育課

<b>取 組 名</b>	「もうすぐ1年生」体験入学推進事業 H23～										
<b>取 組 実 績</b>	<p>○保育所、幼稚園から小学校への円滑な接続を図るため、小学校において次年度の新1年生を対象とした1週間程度の体験入学を実施</p> <p>○府内全小学校で体験入学が実施できるよう啓発するため、地域ごとに連絡協議会を設置し、効果的な体験入学の在り方等について情報共有・検討を実施</p> <p>▶体験入学実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>93校</td> <td>98校</td> <td>104校</td> <td>103校</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	小学校	93校	98校	104校	103校
	23年度	24年度	25年度	26年度							
小学校	93校	98校	104校	103校							
<b>担 当 課</b>	学校教育課										

<b>取 組 名</b>	KY0発見 仕事・文化体験活動推進事業 H23～ (豊かな心を育てる教育推進事業)
<b>取 組 実 績</b>	<p>○児童生徒に京都の伝統・文化を大切にする心、望ましい職業観・勤労観等を身につけさせるため、地域社会における仕事や文化等の体験活動を実施 【H23～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対 象 小学校4年生・中学校2年生</li> <li>・実施例 地域の事業所等での職場体験活動 農林漁業などでの勤労生産体験活動 地域の伝統・文化に関する体験活動 ※人形浄瑠璃体験、茶文化体験（茶摘み・手もみ） など</li> </ul>
<b>担 当 課</b>	学校教育課

<b>取 組 名</b>	職業教育充実事業 H23～H24 京の若者未来支援事業 H25～										
<b>取 組 実 績</b>	<p>○全府立高校でNP0や京都経営者協会等と連携し、進路希望に応じたキャリア形成に関わるインターンシップを実施【H23～】</p> <p>○インターンシップなどの体験活動やキャリア教育サポーターによる教員研修を積極的に取り入れ、キャリア教育を推進するため、府立高校キャリア教育推進研究指定校を指定（【H23】7校、【H24】13校）</p> <p>○キャリア教育に精通した企業関係者や学識経験者を京都府キャリア教育サポーターとして6名指定し、府立高校に派遣する中で教員研修や講演を実施</p> <p>▶キャリア教育サポーター派遣実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度					
	23年度	24年度	25年度	26年度							

	派遣校	19校	20校	24校	15校
	派遣回数	33回	41回	41回	24回
<b>取組実績</b>	<p>○北部の工業系府立高校3校（工業・宮津・峰山）において、北部地域ものづくり後継者育成支援の取組を実施【H23】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ものづくり後継者育成支援連絡会」の設置</li> <li>・「ものづくり後継者育成・確保プログラム」の実施</li> <li>・「ものづくり後継者育成支援員」の配置</li> </ul> <p>○キャリア教育実施計画の作成と実施結果の報告【H25】</p> <p>全府立高校・全課程を対象にキャリア教育年間計画の作成と実施結果の報告を求め、3年間を見通した系統的・計画的なキャリア教育を推進</p> <p>○外部人材を活用したキャリアセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育サポーター派遣事業（【H25】41回、【H26】24回）</li> <li>・学校が選定する社会人講師等活用事業（【H25】49校延べ171回、【H26】49校延べ111回）</li> <li>・Kyotoカタリ場企画（高大連携によるキャリア教育プログラム）実施に対する経費補助（【H25】8校、【H26】7校）</li> </ul> <p>○キャリア体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業見学、インターンシップ、ジョブシャドウイング等の経費補助（【H25】20校、【H26】23校）</li> <li>・職業学科 企業実習・実践指導（【H25】10校、【H26】12校）</li> </ul>				
	<b>担当課</b>	高校教育課			

<b>取組名</b>	<b>豊かな心を育てる読書活動の推進 H23～ （豊かな心を育てる教育推進事業）</b>				
<b>取組実績</b>	<p>○「子ども読書の日（4月23日）」記念事業開催</p> <p>23年度「第10回子ども読書絵てがみコンテスト」 （応募総数17,074点、入賞作品260点、府内31箇所で開催）</p> <p>24年度「第1回子ども読書本のしおりコンテスト」 （応募総数8,542点、入賞作品103点、府内29箇所で開催）</p> <p>25年度「第2回子ども読書本のしおりコンテスト」 （応募総数7,167点、入賞作品99点、府内25箇所で開催）</p> <p>26年度「第3回子ども読書本のしおりコンテスト」 （応募総数8,432点、入賞作品102点、府内27箇所で開催）</p> <p>○21年度に策定した「京都府子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）」に基づき、学校・家庭・地域での読書活動を推進【H23～】</p>				
<b>担当課</b>	学校教育課・社会教育課				

<b>取組名</b>	<b>読書活動推進事業 H23～</b>																			
<b>取組実績</b>	<p>○調べ学習等に役立つ図書を府立図書館において整備し、環境や古典、福祉などの各ジャンルごとに「学校支援セット」としてメニュー化して、府内の小・中学校及び高校への貸出を実施</p> <p>▶貸出状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>9ジャンル</td> <td>10ジャンル</td> <td>10ジャンル</td> <td>12ジャンル</td> </tr> <tr> <td></td> <td>36テーマ</td> <td>44テーマ</td> <td>46テーマ</td> <td>67テーマ</td> </tr> </tbody> </table>						23年度	24年度	25年度	26年度		9ジャンル	10ジャンル	10ジャンル	12ジャンル		36テーマ	44テーマ	46テーマ	67テーマ
	23年度	24年度	25年度	26年度																
	9ジャンル	10ジャンル	10ジャンル	12ジャンル																
	36テーマ	44テーマ	46テーマ	67テーマ																

	小中学校	56校 118セット 3,736冊	37校 95セット 3,063冊	46校 110セット 3,652冊	63校 151セット 6,639冊
	府立高校	7ジャンル 93テーマ 42校 420セット 2,400冊	7ジャンル 95テーマ 56校 137セット 2,930冊	9ジャンル 116テーマ 89校 207セット 6,008冊	9ジャンル 126テーマ 97校 242セット 7,918冊
<b>担 当 課</b>	社会教育課				

## 重点目標5 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力を はぐくむ

<b>取組名</b>	<b>環境教育の推進 H23～</b>																					
<b>取組実績</b>	<p>○環境教育や環境保全につながる調査・研究を推進する府立高校「エコアドバンス活動」指定校に9校を指定し、調査研究等の活動を支援【H23～H25】</p> <p>○各府立学校の環境保全活動の中心的役割を担う「高校生環境リーダー」を育成するため、京都府高校生環境サミットを開催【H23～H24】</p> <p>▶開催状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高 校</td> <td>10校</td> <td>10校</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>53名</td> <td>55名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○地域における環境保全活動の啓発と促進を図るため、高校生による小中学校の「環境出前講座」を実施【H23～H24】</p> <p>▶環境出前講座実施状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高 校</td> <td>8校</td> <td>9校</td> </tr> <tr> <td>出前先</td> <td>8小学校 2中学校</td> <td>3小学校 1中学校</td> </tr> <tr> <td>講座数</td> <td>14講座</td> <td>9講座</td> </tr> </tbody> </table> <p>○児童生徒の環境への興味・関心を高めることを目指した文部科学省指定事業「環境のための地球規模の学習及び観測プログラム（グローブ）推進事業」を府立高校2校で実施【H25】</p> <p>○「京都環境フェスティバル2014」で府立高校5校が展示活動【H26】</p> <p>○「環境教育リーダー研修講座」（文部科学省主催）【H26】</p>		23年度	24年度	高 校	10校	10校	参加人数	53名	55名		23年度	24年度	高 校	8校	9校	出前先	8小学校 2中学校	3小学校 1中学校	講座数	14講座	9講座
	23年度	24年度																				
高 校	10校	10校																				
参加人数	53名	55名																				
	23年度	24年度																				
高 校	8校	9校																				
出前先	8小学校 2中学校	3小学校 1中学校																				
講座数	14講座	9講座																				
<b>担当課</b>	学校教育課・高校教育課																					

<b>取組名</b>	<b>情報教育の推進 H23～</b>
<b>取組実績</b>	○教材の効率的な収集を推進するため、授業改善に役立てるためのポータルサイト「京育ナビ」を整備し、本府教員（授業の達人）による授業風景や学校の取組、府独自の教材等をWeb上に掲載
<b>担当課</b>	学校教育課・高校教育課

<b>取組名</b>	<b>国際理解教育の推進 H23～</b>																									
<b>取組実績</b>	<p>○外国人指導助手の活用とともに、小学校での外国語活動の支援教材を作成するなど、国際理解教育を推進（23年度から小学校で英語必修化完全実施）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者・地域への授業公開</td> <td>169校</td> <td>173校</td> <td>166校</td> <td>6月確定</td> </tr> <tr> <td>中学校教員への授業公開</td> <td>65校</td> <td>66校</td> <td>71校</td> <td>6月確定</td> </tr> <tr> <td>ALT・中学校教員以外の英語に堪能な地域人材を活用した授業の実施</td> <td>61校</td> <td>51校</td> <td>46校</td> <td>6月確定</td> </tr> <tr> <td>中学校教員と協働した授業や研修の取組</td> <td>81校</td> <td>78校</td> <td>88校</td> <td>6月確定</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	保護者・地域への授業公開	169校	173校	166校	6月確定	中学校教員への授業公開	65校	66校	71校	6月確定	ALT・中学校教員以外の英語に堪能な地域人材を活用した授業の実施	61校	51校	46校	6月確定	中学校教員と協働した授業や研修の取組	81校	78校	88校	6月確定
	23年度	24年度	25年度	26年度																						
保護者・地域への授業公開	169校	173校	166校	6月確定																						
中学校教員への授業公開	65校	66校	71校	6月確定																						
ALT・中学校教員以外の英語に堪能な地域人材を活用した授業の実施	61校	51校	46校	6月確定																						
中学校教員と協働した授業や研修の取組	81校	78校	88校	6月確定																						

<b>担 当 課</b>	学校教育課・高校教育課
--------------	-------------

<b>取 組 名</b>	府立高校生グローバルチャレンジ500事業 H24～																												
<b>取 組 実 績</b>	<p>○府立高校生の海外語学研修等、海外留学に対する補助を実施</p> <p>▶補助実施実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エディンバラ語学研修補助事業</td> <td>30名</td> <td>29名</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>オーストラリア語学研修補助事業</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>海外短期留学チャレンジ補助事業</td> <td>84名</td> <td>61名</td> <td>43名</td> </tr> <tr> <td>海外長期留学支援事業</td> <td>10名</td> <td>8名</td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○京都グローバルコミュニケーション校4校を指定し、国際感覚とコミュニケーション能力の育成に向けた取組を実施【H24・H25】</p> <p>○研修協力校3校を指定し、教員の英語指導力向上に向けた取組を実施【H26】</p> <p>○英語の授業や学校生活全般を通じた生徒のコミュニケーション能力を向上させるため、府立高校等にJETプログラムによる英語指導助手を配置</p> <p>▶指導助手配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35名</td> <td>36名</td> <td>36名</td> <td>36名</td> </tr> </tbody> </table>		24年度	25年度	26年度	エディンバラ語学研修補助事業	30名	29名	30名	オーストラリア語学研修補助事業	—	—	19名	海外短期留学チャレンジ補助事業	84名	61名	43名	海外長期留学支援事業	10名	8名	7名	23年度	24年度	25年度	26年度	35名	36名	36名	36名
	24年度	25年度	26年度																										
エディンバラ語学研修補助事業	30名	29名	30名																										
オーストラリア語学研修補助事業	—	—	19名																										
海外短期留学チャレンジ補助事業	84名	61名	43名																										
海外長期留学支援事業	10名	8名	7名																										
23年度	24年度	25年度	26年度																										
35名	36名	36名	36名																										
<b>担 当 課</b>	高校教育課																												

<b>取 組 名</b>	子どもと社会を結ぶまなびづくり協議会（結ネットKYOTO）の設置 H23～															
<b>取 組 実 績</b>	<p>○児童生徒が専門家から社会の仕組みを学べるよう、弁護士会、検察庁などと連携した「結ネットKYOTO」を設置</p> <p>○「結ネットKYOTO」を通じて出前授業を実施</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前先</td> <td>38校</td> <td>148校</td> <td>359校</td> <td>347校</td> </tr> <tr> <td>延べ回数</td> <td>126回</td> <td>180回</td> <td>511回</td> <td>447回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○各機関の出前授業等の情報を掲載したリーフレットを小中高校に配布</p>		23年度	24年度	25年度	26年度	出前先	38校	148校	359校	347校	延べ回数	126回	180回	511回	447回
	23年度	24年度	25年度	26年度												
出前先	38校	148校	359校	347校												
延べ回数	126回	180回	511回	447回												
<b>担 当 課</b>	学校教育課・高校教育課・社会教育課															

<b>取 組 名</b>	社会とかかわる力の育成プロジェクト H23～H24 (府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業)						
<b>取 組 実 績</b>	<p>○法廷見学や大学体験など体験的な活動を積極的に推進することにより、社会の仕組みを理解し、積極的に社会参画するための知識・技能や態度など公民的資質を養うため、実践研究校を指定</p> <p>▶実践研究校指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高 校</td> <td>4校</td> <td>3校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○シティズンシップ教育サポーターを派遣 ・取組例：北桑田高校が京都府警本部を見学</p>		23年度	24年度	高 校	4校	3校
	23年度	24年度					
高 校	4校	3校					
<b>担 当 課</b>	高校教育課						

## 重点目標6 学校の教育力の向上を図る

取組名	いじめ問題への対応 H24～ (規律ある行いを実践する教育推進事業 H26～)						
取組実績	<p>○他府県におけるいじめ問題を受け、本府のいじめ問題対策の早急な点検・見直しを行うため、庁内に「いじめ対策検討チーム」を緊急的に設置【H24】</p> <p>○児童生徒に対していじめに関する相談先を記載したクリアファイルを、保護者へいじめを見逃さないための啓発リーフレットを、教職員に対していじめに気付く力や学校の組織力を高めるため、いじめ発見チェックリストや当事者への対応、関係機関との連携などを示した「いじめ問題解決のために（教職員用ハンドブック）」を作成・配付【H24】</p> <p>○いじめによる重大な問題が発生した場合の対応や京都府が実施するいじめ問題への取組等について専門的な見地から意見を聴取するため、「いじめ対策検討のための有識者会議」を設置【H24～H25】</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1" data-bbox="453 860 882 936"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>2回</td> <td>5回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○いじめ防止対策推進法を踏まえ、いじめ問題への対策を総合的かつ効果的に推進するための「京都府いじめ防止基本方針」の策定に当たり、専門的な見地から意見を聴取するため、「京都府いじめ防止基本方針検討委員会」を設置（3回開催）し、基本方針を策定（平成26年4月）【H25】</p> <p>○府内の公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童生徒を対象にアンケートや個別の聞き取りによるいじめ調査を実施【H25～】</p> <p>○未解消のいじめの早期解決やいじめの把握のためのいじめ対策専門指導員や、いじめ事象で課題が生じている学校の体制強化を図るためのいじめ早期対応緊急指導教員を配置【H25～】</p> <p>▶配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・25年度 いじめ対策専門指導員1校 いじめ早期対応緊急指導教員3校に配置</li> <li>・26年度 いじめ早期対応緊急指導教員1校に配置</li> </ul> <p>○いじめ等の対応で悩んでいる教職員に対して、スーパーバイザーによる相談を実施【H24～】</p> <p><b>規律ある行いを実践する教育推進事業</b></p> <p>○各校（園）で「法やルールに関する教育」の具体的な指導を行うため、就学前、小学校、中学校、高等学校など子どもの発達段階に応じた体系化されたカリキュラムを作成【H26】</p> <p>○「法やルールに関する教育」研究指定校を3校指定し、実践的な調査研究を実施【H26】</p> <p><b>いじめ未然防止・早期解消支援チーム派遣</b></p> <p>○学校におけるいじめ事象への未然防止、早期解消に向けて、市町（組合）教育委員会・府立学校の要請に応じて、生徒指導の経験のある退職教員などで構成するチームを派遣し、いじめの未然防止を図るとともに、管理職・担任等と連携し、第三者的立場から早期解消のための道筋をつける。【H26】</p> <p>▶派遣状況</p>		24年度	25年度	実施回数	2回	5回
	24年度	25年度					
実施回数	2回	5回					

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度 1校</li> </ul> <p><b>いじめ対応のための附属機関設置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめ防止対策推進法第14条第3項に規定するいじめの防止等のための対策について教育委員会の諮問に応じ調査審議し、意見を答申する事務及び同法第28条第1項の規定による調査に関する事務を行う附属機関として、京都府いじめ防止対策推進委員会を設置【H26】 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶いじめ防止対策推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度 5回</li> </ul> </li> <li>▶いじめ防止対策推進委員研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度 1回</li> </ul> </li> <li>▶いじめ防止対策推進委員懇談会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度 1回</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<b>担 当 課</b>	学校教育課・高校教育課

<b>取 組 名</b>	<b>体罰事象への対応 H24～</b>
<b>取 組 実 績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○府立学校の体罰問題について実態を徹底的に把握するため、教育企画監をリーダーとし、府教委事務局職員及び専門的知見者で構成する「府立学校体罰問題緊急調査チーム」を設置、調査報告書を提出【H24】</li> <li>○京都市を除く全小・中・高・特別支援学校に対し体罰防止の徹底を通知するとともに、体罰把握に係る実態調査を実施【H24】</li> <li>○25年2月に指導の在り方についてより一層の見識を深め、資質向上を図るため、運動部活動指導者特別研修会を開催【H24】</li> <li>○25年3月に、体罰根絶に向けた今後の取組に活かすため、府内全小・中・高・特別支援学校教職員を対象に体罰に係る意識調査を実施【H24】</li> <li>○「体罰防止の手引き」を全校に配布するとともに、各学校での校内研修用資料に活用できるよう府教委ホームページにも掲載【H25～】</li> <li>○児童生徒・保護者を対象とした専用相談電話を25年5月に開設【H25～】</li> <li>○教職員を対象としたスーパーバイザー（医学博士、臨床心理士等）による相談事業を開設【H25～】</li> <li>○体罰根絶に向けた研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・25年度 運動部活動指導者特別研修会（5月） 生徒指導講座（6月）</li> <li>・26年度 運動部活動指導者セミナー（5月）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<b>担 当 課</b>	教職員課・学校教育課・特別支援教育課・高校教育課・保健体育課

<b>取 組 名</b>	<b>心のサポート推進事業 H23～</b>										
<b>取 組 実 績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校における相談体制を整備するため、府内全中学校、全府立高校、及び小学校にスクールカウンセラーを配置 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶小学校配置状況</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>23年度</td> <td>24年度</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>配置校数</td> <td>12校</td> <td>13校</td> <td>16校</td> <td>16校</td> </tr> </table> </li> <li>○「いじめ・不登校」の相談にいつでも対応できるよう、トータルアドバイスセンターにおいて電話（24時間対応）、来所、巡回相談等を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶延べ相談件数</li> </ul> </li> </ul>		23年度	24年度	25年度	26年度	配置校数	12校	13校	16校	16校
	23年度	24年度	25年度	26年度							
配置校数	12校	13校	16校	16校							

	23年度	24年度	25年度	26年度
電話相談	2,967件	2,844件	3,440件	3,668件
メール相談	534件	486件	139件	107件
来所相談	1,786件	1,607件	1,999件	2,071件
巡回相談	208件	179件	143件	159件

- 増加する「ネット上のいじめ」等に対応するため、「ネットいじめ通報サイト」を継続設置するとともに、民間企業とも連携したネット監視の強化やフィルタリングの普及、保護者への啓発リーフレット配付等の取組を実施
- 民間企業と連携し、毎月（年間12回）府内の小中及び府立学校の学校非公式サイトでの監視を実施し、有害情報を検出し、削除するとともに、その情報を基に生徒指導等を実施

▶有害情報件数

	23年度	24年度	25年度	26年度
リスクレベル高	1件	0件	0件	0件
リスクレベル中	172件	213件	340件	260件

- 別室登校等に対応する「心の居場所サポーター」を小中学校に配置

▶配置状況

	23年度	24年度	25年度	26年度
小学校	16校	16校	16校	16校
中学校	22校	22校	22校	22校

- フリースクールと学校が連携し、不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立を目指す取組を実施。あわせて子どもの学習評価等に関する実践研究を実施（フリースクールを「協働施設」として6施設認定）

- 不登校傾向にある児童生徒を対象に、府立少年自然の家において「ふれあい宿泊学習」を実施

▶実施状況

	23年度	24年度	25年度	26年度
参加人数	112人	88人	37人	68人

**担 当 課** 学校教育課・高校教育課・社会教育課

**取 組 名** 生徒指導緊急指導教員の配置 H23～

**取 組 実 績** ○地域の人々やPTA、スクールサポーター等と連携する中で、個々の生徒の実態に応じたきめ細かな指導や学習支援を行うため、暴力行為の多発等大きな課題の生じている学校に緊急的に教員を配置

▶配置状況

	23年度	24年度	25年度	26年度
中学校	8校	10校	7校	7校

**担 当 課** 教職員課・学校教育課

**取 組 名** 少年非行対策 H23～

**取 組 実 績** ○深刻な状況が続く児童生徒の暴力行為等問題行動の早期解決を目指し、学校と地域社会との連携、校種間連携を強化した対策を総合的に進めるため、教育庁内に「少年非行問題対策プロジェクト」を設置【H24～H26】

- 問題行動の未然防止等に向けて、まなび・生活アドバイザーを小学校に配置【H24～】

	▶配置状況																																				
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>24年度</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>配置校数</td> <td>5校</td> <td>5校</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>支援児童生徒数</td> <td>90人</td> <td>220人</td> <td>708人</td> </tr> </table>		24年度	25年度	26年度	配置校数	5校	5校	5校	支援児童生徒数	90人	220人	708人																								
		24年度	25年度	26年度																																	
	配置校数	5校	5校	5校																																	
	支援児童生徒数	90人	220人	708人																																	
	○府教育委員会、京都市教育委員会及び府公安委員会と意見交換会を実施【H24～】																																				
	○市町（組合）教育委員会や学校、更にスクールサポーター（警察OB等）や警察などと連携し、問題事象への早期対応に取り組む（スクールサポーターを少年サポートセンター及び25警察署に配置）																																				
	▶配置状況																																				
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23年度</td> <td>24年度</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>配置人数</td> <td>36人</td> <td>40人</td> <td>42人</td> <td>42人</td> </tr> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	配置人数	36人	40人	42人	42人																										
		23年度	24年度	25年度	26年度																																
配置人数	36人	40人	42人	42人																																	
○児童生徒の状況に応じてスクールカウンセラーやまなび・生活アドバイザーと連携し、家庭、地域、福祉関係機関と協働した取組を実施																																					
▶警察との連携による会議等開催状況（少年非行対策）																																					
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23年度</td> <td>24年度</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>大学生と連携した薬物乱用防止教室の開催</td> <td>4回</td> <td>9回</td> <td>8回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非行防止教室の実施率</td> <td>小50%</td> <td>小100%</td> <td>小100%</td> <td>小100%</td> </tr> <tr> <td>中62%</td> <td>中100%</td> <td>中100%</td> <td>中100%</td> </tr> <tr> <td>高44%</td> <td>高79%</td> <td>高87%</td> <td>高—%</td> </tr> <tr> <td>特25%</td> <td>特33%</td> <td>特33%</td> <td>特27%</td> </tr> <tr> <td>校内研修会等での講演等</td> <td>28回</td> <td>14回</td> <td>5回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>学校警察連絡会議の設置</td> <td>26箇所</td> <td>30箇所</td> <td>33箇所</td> <td>6月確定</td> </tr> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	大学生と連携した薬物乱用防止教室の開催	4回	9回	8回	2回	非行防止教室の実施率	小50%	小100%	小100%	小100%	中62%	中100%	中100%	中100%	高44%	高79%	高87%	高—%	特25%	特33%	特33%	特27%	校内研修会等での講演等	28回	14回	5回	5回	学校警察連絡会議の設置	26箇所	30箇所	33箇所	6月確定
	23年度	24年度	25年度	26年度																																	
大学生と連携した薬物乱用防止教室の開催	4回	9回	8回	2回																																	
非行防止教室の実施率	小50%	小100%	小100%	小100%																																	
	中62%	中100%	中100%	中100%																																	
	高44%	高79%	高87%	高—%																																	
	特25%	特33%	特33%	特27%																																	
校内研修会等での講演等	28回	14回	5回	5回																																	
学校警察連絡会議の設置	26箇所	30箇所	33箇所	6月確定																																	
<b>担 当 課</b>	学校教育課																																				

<b>取 組 名</b>	いじめ・非行防止キャンペーン H25～				
<b>取 組 実 績</b>	<p>○府内全校立中学校PTA（京都市立及び府立除く）が関係団体と連携し、「いじめ・非行防止キャンペーン」と表記した横断幕やのぼり等を活用した地域ぐるみの声かけ（あいさつ）・見守り運動を実施</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>50校</td> <td>94校</td> </tr> </table> <p>○各教育局において、地域の関係団体と連携し非行防止を進める機運の醸成を図るため、非行防止フォーラムを開催</p> <p>○京都府PTA協議会が子どもの問題行動における保護者の意識向上を図るため、親のための非行防止教室を実施</p>	25年度	26年度	50校	94校
25年度	26年度				
50校	94校				
<b>担 当 課</b>	社会教育課				

<b>取 組 名</b>	「教師力向上」地元パワー活用事業 H23～																				
<b>取 組 実 績</b>	<p>○豊かな実践経験を持つ教員の大量退職による教科指導力等低下へ対応するため、大学と連携し研修講座を実施</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>23年度</td> <td>24年度</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>連携校</td> <td>8大学</td> <td>9大学</td> <td>10大学</td> <td>11大学</td> </tr> <tr> <td>講 座</td> <td>33講座</td> <td>32講座</td> <td>25講座</td> <td>20講座</td> </tr> <tr> <td>参 加</td> <td>1,452名</td> <td>1,259名</td> <td>1,165名</td> <td>729名</td> </tr> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	連携校	8大学	9大学	10大学	11大学	講 座	33講座	32講座	25講座	20講座	参 加	1,452名	1,259名	1,165名	729名
	23年度	24年度	25年度	26年度																	
連携校	8大学	9大学	10大学	11大学																	
講 座	33講座	32講座	25講座	20講座																	
参 加	1,452名	1,259名	1,165名	729名																	

	○中堅教員の不足に対応するため、企業やシンクタンク等と連携し、学校運営の中核を担うミドルリーダーの育成研修を実施																				
	▶実施状況																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連携先</td> <td>3機関</td> <td>3機関</td> <td>3機関</td> <td>4機関</td> </tr> <tr> <td>講座</td> <td>17講座</td> <td>17講座</td> <td>13講座</td> <td>15講座</td> </tr> <tr> <td>参加</td> <td>1,531名</td> <td>1,169名</td> <td>932名</td> <td>940名</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	連携先	3機関	3機関	3機関	4機関	講座	17講座	17講座	13講座	15講座	参加	1,531名	1,169名	932名	940名
		23年度	24年度	25年度	26年度																
	連携先	3機関	3機関	3機関	4機関																
講座	17講座	17講座	13講座	15講座																	
参加	1,531名	1,169名	932名	940名																	
○教務主任等を対象に、民間企業の企業理念や組織運営に学ぶ宿泊研修を実施																					
▶実施状況																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>50名</td> <td>50名</td> <td>40名</td> <td>39名</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	参加人数	50名	50名	40名	39名											
	23年度	24年度	25年度	26年度																	
参加人数	50名	50名	40名	39名																	
<b>担 当 課</b>	学校教育課																				

<b>取 組 名</b>	教職員の資質能力向上等について H23～																									
<b>取 組 実 績</b>	<p>○総合教育センターにおいて、集合型の研修から現場研修への改革を進め、現地現場のニーズに応じた教員研修を充実</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座数</td> <td>268講座</td> <td>278講座</td> <td>280講座</td> <td>289講座</td> </tr> <tr> <td>受講者(延べ)</td> <td>17,901名</td> <td>19,989名</td> <td>19,163名</td> <td>19,259名</td> </tr> <tr> <td>出前講座</td> <td>225講座</td> <td>299講座</td> <td>269講座</td> <td>152講座</td> </tr> <tr> <td>受講者(延べ)</td> <td>4,839名</td> <td>7,257名</td> <td>6,579名</td> <td>4,001名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○京の歴史文化に触れることにより、伝統文化に関する教育活動に繋げる視点を学ぶ京の教育「みやび」講座など、京都府の伝統文化を活かした企画講座を実施【H25】</p> <p>○複雑で多様化する学校へのニーズに対応できるよう、教員の人材育成や学校の支援を行うアドバイザーを総合教育センターに継続配置</p> <p>▶配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度 教師力向上アドバイザー14名、学校支援アドバイザー1名</li> <li>・24年度 教師力向上アドバイザー14名、学校支援アドバイザー1名</li> <li>・25年度 教師力向上アドバイザー15名、学校支援アドバイザー1名</li> <li>・26年度 教師力向上アドバイザー15名、学校支援アドバイザー1名</li> </ul> <p>○学校における重大事案への対応を迅速に行うため、弁護士や精神科医等の専門家と連携し、「京都府学校危機支援チーム（CCST）」を創設。</p> <p>▶実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亀岡市立安詳小学校における交通事故への対応のために派遣【H24】</li> </ul>		23年度	24年度	25年度	26年度	講座数	268講座	278講座	280講座	289講座	受講者(延べ)	17,901名	19,989名	19,163名	19,259名	出前講座	225講座	299講座	269講座	152講座	受講者(延べ)	4,839名	7,257名	6,579名	4,001名
	23年度	24年度	25年度	26年度																						
講座数	268講座	278講座	280講座	289講座																						
受講者(延べ)	17,901名	19,989名	19,163名	19,259名																						
出前講座	225講座	299講座	269講座	152講座																						
受講者(延べ)	4,839名	7,257名	6,579名	4,001名																						
<b>担 当 課</b>	学校教育課																									

<b>取 組 名</b>	集まれ未来の教員サポート事業 H23～															
<b>取 組 実 績</b>	<p>○教員志望の大学生等による小中学校での学習支援やクラブ活動などの支援を行う「学生ボランティア」を実施 1月末現在</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動校</td> <td>147校</td> <td>135校</td> <td>143校</td> <td>133校</td> </tr> <tr> <td>活動者</td> <td>523名</td> <td>459名</td> <td>509名</td> <td>447校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○教員志望の学生を対象に、大学との連携のもとインターンシップを行う「教</p>		23年度	24年度	25年度	26年度	活動校	147校	135校	143校	133校	活動者	523名	459名	509名	447校
	23年度	24年度	25年度	26年度												
活動校	147校	135校	143校	133校												
活動者	523名	459名	509名	447校												

員養成サポートセミナー」を実施

▶実施状況

	23年度	24年度	25年度	26年度
小学校	13校	13校	12校	12校
中学校	4校	4校	5校	5校
高校	1校	2校	2校	3校
特別支援	1校	1校	2校	2校
受講者	16大学 128名	14大学 1大学院 131名	15大学 140名	13大学 116名

- 「教師力養成講座」として京都府教員を志望する大学生を対象に、教師力養成のための実務研修・講義等を実施

▶実施状況

	23年度	24年度	25年度	26年度
受講者	13大学 1大学院 54名	16大学 1大学院 60名	16大学 59名	20大学 70名

**担 当 課** 教職員課

**取 組 名** Myスクールナビ京都 ～府立高校探しナビゲーション～ H23～

**取 組 実 績**

- インターネットを使って、学科や部活動など、様々な情報から各府立高校を検索し、生徒が自分にあった高校を探すことができるよう整備  
○中学校の進路指導担当に意見を求めるなど現場の意見も取り入れ、各府立高校の魅力や特色をわかりやすくPR

▶1日当たりのアクセス数

	23年度	24年度	25年度	26年度
アクセス数	約100件	約50件	約50件	約50件

- 同ナビゲーションの内容を「公立高校スクールガイド」として冊子にまとめ、通学圏別合同説明会で配布【H25～】するとともに、全中学3年生向けに配布  
○入学者選抜制度にかかるページを新設し、平成26年度からの新しい入学者選抜制度の概要やQ&A等の情報を掲載するとともに、高校の説明会や過去の入試情報などのページともリンクさせるなど、中学生の進路選択に役立つ情報を集積したものを最新情報に随時更新【H26】

**担 当 課** 高校教育課

**取 組 名** 開かれた学校づくりの推進 H23～

**取 組 実 績**

- 学校評価推進事業により、学校評価システムの構築を研究し、京都式学校運営制度の創設に向けた取組を実施。全小中学校において学校評価（自己評価を含む）を実施【H23】  
○学校と地域社会との連携、校種間連携等の取組を推進するため、「学校・地域の連携協働プロジェクト」を教育庁内に設置【H24～】  
○まなび教育推進プランで地域の状況に即した学校・家庭・地域の連携協力の仕組みを検討。来年度から学校・地域の協働を推進するため、教職員向けスタートガイドと結システムの周知のための資料を作成し、学校に説明・配付

	<p>【H23】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校と家庭・地域社会が互いに連携協働しながら教育活動を実践することの重要性を再認識し、それぞれの学校に最も適した方法で連携を進めるシステム「結（ゆい）」を府内全域に拡充するための取組を推進【H24～】</li> <li>○地域に開かれた信頼される学校づくりのため、研究校を指定しコミュニティスクールの実践研究を実施</li> </ul> <p>▶指定状況</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>23年度</td> <td>24年度</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>指定校数</td> <td>11校</td> <td>7校</td> <td>6校</td> <td>4校</td> </tr> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	指定校数	11校	7校	6校	4校
	23年度	24年度	25年度	26年度							
指定校数	11校	7校	6校	4校							
担 当 課	学校教育課										

取 組 名	学校改革リーダー養成事業 H24～								
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○府立高校の若手・中堅教員が、府立高校イノベーションリーダーとして、自ら設定した課題解決や活性化に関するテーマに沿って研究</li> </ul> <p>▶イノベーションリーダー</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>24年度</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>20人</td> <td>12人</td> <td>10人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○研究成果による施策提案を実施</li> </ul>		24年度	25年度	26年度	人数	20人	12人	10人
	24年度	25年度	26年度						
人数	20人	12人	10人						
担 当 課	高校教育課								

取 組 名	京都府公立学校教員採用選考試験の改善 H23～																					
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○募集校種区分等の変更（25年度実施分から） 校種間連携及び特別支援教育充実の観点から小学校、中学校、高等学校において、それぞれ特別支援学校の小学部、中学部、高等部を含めて募集</li> <li>○第1次試験の一部試験免除（継続） 次の区分で第1次試験の一部を免除</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>区 分</th> <th>免 除 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>前年度1次合格</td> <td>筆記試験全部</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>大学推薦特別選考合格者</td> <td>筆記試験全部</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>中・高外国語（英語）</td> <td>専門教科</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>講師経験者等</td> <td>一般教養</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>京都府内常勤講師特例</td> <td>一般教養及び専門教科</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>他府県現職</td> <td>一般教養及び専門教科</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、①②④⑤はいずれの区分でも3年連続の適用はしない。 （25年度実施分から）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大学推薦特別選考合格者の試験免除内容の変更（25年度実施分から） 大学推薦特別選考合格者の試験免除を「第1次試験全部」から「第1次試験のうち筆記試験」に変更</li> <li>○多様な面接官の登用（継続） 第2次試験における面接官に企業人事担当者や保護者などを加え、広く多様な視点で人物評価を実施</li> </ul>		区 分	免 除 内 容	①	前年度1次合格	筆記試験全部	②	大学推薦特別選考合格者	筆記試験全部	③	中・高外国語（英語）	専門教科	④	講師経験者等	一般教養	⑤	京都府内常勤講師特例	一般教養及び専門教科	⑥	他府県現職	一般教養及び専門教科
	区 分	免 除 内 容																				
①	前年度1次合格	筆記試験全部																				
②	大学推薦特別選考合格者	筆記試験全部																				
③	中・高外国語（英語）	専門教科																				
④	講師経験者等	一般教養																				
⑤	京都府内常勤講師特例	一般教養及び専門教科																				
⑥	他府県現職	一般教養及び専門教科																				
担 当 課	教職員課																					

## 重点目標7 安心・安全で充実した教育の環境を整備する

取組名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 H23～																																			
取組実績	<p>○学校、警察、道路管理者の3者において、通学路の交差点を中心とした安全点検を実施。ソフト・ハード両面から事故リスクの低減に向け、昨年度実施の緊急合同点検に基づく対策を活用しながら、3者共同での対策が進行中【H24～】</p> <p>○専門知識を有する通学路安全対策アドバイザーの助言に基づく効果的な安全対策を実施（城陽市、京丹波町）【H25～】</p> <p>○スクールガード・リーダー（学校安全ボランティア）による学校の巡回指導等を実施</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スクールガード・リーダー</td> <td>8名</td> <td>10名</td> <td>9名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>学校数</td> <td>41校</td> <td>48校</td> <td>54校</td> <td>41校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○家庭・地域社会・関係機関等の連携により、「子ども見守り隊」等の活動を推進するなど、地域人材による安全確保の取組を実施</p> <p>▶警察等との連携による会議等開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域安全マップづくり講習会</td> <td>6会場</td> <td>5会場</td> <td>6会場</td> <td>12会場</td> </tr> <tr> <td>学校安全教室指導者講習会</td> <td>2会場</td> <td>6会場</td> <td>6会場</td> <td>4会場</td> </tr> <tr> <td>地区別学校安全研究協議会</td> <td>5会場</td> <td>5会場</td> <td>5会場</td> <td>5会場</td> </tr> </tbody> </table> <p>○23年3月11日に発生した東日本大震災を受け、同6月に「学校における防災教育の見直しの視点」を発出し、避難訓練等の見直しの必要性を各校に通知【H23】</p> <p>○24年1月に作成した「いのちを守る『知恵』をはぐくむために～学校における安全教育の手引～東日本大震災の教訓を踏まえて」を活用した講習会を開催し、実効性のある学校安全計画及び危険等発生時対処要領の作成や見直しについて研修</p> <p>24年度 災害安全4会場、交通安全1会場、生活安全1会場  25年度 災害安全4会場、交通安全1会場、生活安全1会場  26年度 災害安全1会場、交通安全2会場、生活安全1会場</p> <p>○校内研修の充実と事前の備えを日常的に図るため「いのちを守る『知恵』をはぐくむために～学校における安全教育の手引き～東日本大震災の教訓を踏まえて」の教職員携行版を全教職員へ配布【H24】</p> <p>○自転車交通安全教育の充実を図るため「自転車交通安全教育指導資料」を各小学校、中学校及び高校へ配付【25】</p>		23年度	24年度	25年度	26年度	スクールガード・リーダー	8名	10名	9名	10名	学校数	41校	48校	54校	41校		23年度	24年度	25年度	26年度	地域安全マップづくり講習会	6会場	5会場	6会場	12会場	学校安全教室指導者講習会	2会場	6会場	6会場	4会場	地区別学校安全研究協議会	5会場	5会場	5会場	5会場
	23年度	24年度	25年度	26年度																																
スクールガード・リーダー	8名	10名	9名	10名																																
学校数	41校	48校	54校	41校																																
	23年度	24年度	25年度	26年度																																
地域安全マップづくり講習会	6会場	5会場	6会場	12会場																																
学校安全教室指導者講習会	2会場	6会場	6会場	4会場																																
地区別学校安全研究協議会	5会場	5会場	5会場	5会場																																
担当課	保健体育課																																			

取組名	実践的防災教育総合支援事業 H23～
取組実績	<p>○「安全で安心な社会づくりに貢献する意識」を高める防災教育、地域住民や保護者・関係機関との連携体制を構築・強化しながら児童生徒及び学校の災害対応能力を高める防災訓練等の手法の開発・普及に係る取組を支援（福知山市）【H24～】</p> <p>・市内全校（幼・小・中）による防災無線を活用した避難訓練の実施</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防防災センターでの体験学習の実施</li> <li>・教職員対象の学校防災指導者研修会、応急手当普及員講習会の開催 (舞鶴市)【H24】</li> <li>・モデル校(小2校・中1校)での多様な場面(原子力災害、地震、津波、火災)を想定した防災訓練の実施</li> <li>・東日本大震災教育活動支援チームによる講演会の開催</li> <li>・教職員対象の学校防災研修会の開催</li> </ul> <p>○推進委員会での両市の実践報告を踏まえ、学識経験者より防災教育の指導方法や指導手法の開発・普及に対する指導・助言を受け、府内の学校における防災教育・防災管理を推進【H24～】</p>
<b>担 当 課</b>	保健体育課

<b>取 組 名</b>	府立学校施設整備事業 H23～												
<b>取 組 実 績</b>	<p>○府立学校の耐震補強工事を完了させるとともに、耐震補強工事に着手</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補強工事完了</td> <td>7校11棟</td> <td>20校41棟</td> <td>21校29棟</td> </tr> <tr> <td>補強工事着手</td> <td>20校41棟</td> <td>21校29棟</td> <td>14校23棟</td> </tr> </tbody> </table> <p>○耐震壁増設、耐震ブレースの設置を行うとともに、教室等の内部改修、省エネを考慮した設備改修、外壁改修等を実施【H23】</p> <p>○園部高校(附属中学校)の中高一貫教室棟の新築工事の竣工【H23】</p> <p>○府内初のスポーツ健康科学科を有する乙訓高校において、雨天練習場の建設工事の竣工【H23】</p> <p>○府立学校については構造体の耐震補強を中心に耐震対策を促進【H24～H25】</p> <p>○小中学校施設の耐震化を更に向上させるため、市町村の施設担当者研修会を開催【H23～】</p> <p>○府立海洋高校における実習船教育の更なる充実・発展を図るため、実習船「みずなぎ」の基本設計完了【H23】、代船建造着手【H24】、建造完了【H25】</p> <p>○府立鴨沂高校校舎等の耐震化のため、生徒・教職員の意見や要望を踏まえ、施設配置計画案を作成し、リニューアル整備に着手【H25～】</p>		24年度	25年度	26年度	補強工事完了	7校11棟	20校41棟	21校29棟	補強工事着手	20校41棟	21校29棟	14校23棟
	24年度	25年度	26年度										
補強工事完了	7校11棟	20校41棟	21校29棟										
補強工事着手	20校41棟	21校29棟	14校23棟										
<b>担 当 課</b>	管理課・高校教育課												

<b>取 組 名</b>	防災キャンプ推進事業 H23～																				
<b>取 組 実 績</b>	<p>○東日本大震災の教訓を踏まえ、実践的な防災教育プログラムを体験することにより、防災教育及び地域の絆作りを推進する「防災キャンプ」をり渓少年自然の家で実施</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2泊3日</td> <td>45名</td> <td>27名</td> <td>52名</td> </tr> <tr> <td>1泊2日</td> <td>—</td> <td>7名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>日帰り</td> <td>48名</td> <td>141名</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>・救命救急体験、給水体験、炊き出し体験、非常食体験、避難所体験、身近なものを使った食器作り、応急担架作り、地震が起きるしくみの学習、被災者や自衛隊員による体験談の聴講、避難所運営ゲーム「HUG」等</p>		24年度	25年度	26年度	参加者				2泊3日	45名	27名	52名	1泊2日	—	7名	—	日帰り	48名	141名	—
	24年度	25年度	26年度																		
参加者																					
2泊3日	45名	27名	52名																		
1泊2日	—	7名	—																		
日帰り	48名	141名	—																		
<b>担 当 課</b>	社会教育課																				

取組名	高校生等修学支援事業
取組実績	<p>○ 勉学意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な高校生に対し、修学金（月額）及び修学支度金（入学一時金）の貸付等を実施</p> <p>▶ 高等学校等修学金・修学支度金貸与及び特別融資利子補給対象者数 23年度：6,534人 24年度：6,550人 25年度：6,365人</p> <p>▶ 通学費補助 23年度：81人 24年度：100人 25年度：71人 26年度：72人</p> <p>▶ 定時制・通信制課程修学奨励金貸与者数 23年度：68人 24年度：71人 25年度：60人 26年度：57人</p> <p>○ 26年度から新たに授業料相当額を支給する「高等学校等就学支援金」や給付型奨学金である「奨学のための給付金」事業を実施 (26年度は1年生のみ対象、順次学年進行で対象拡大予定)</p>
担当課	高校教育課

## 重点目標8 すべての教育の出発点である家庭教育を支援する

<b>取組名</b>	親のための応援塾 H23～ (家庭教育支援事業)																				
<b>取組実績</b>	<p>○就学前の子どもを持つ保護者と先輩保護者との交流等を行うことにより、子育てに関する親の不安の解消と親同士のネットワークの形成を目指す「親のための応援塾」を開催（京都府PTA協議会へ委託）</p> <p>▶親のための応援塾開催状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催校</td> <td>234PTA</td> <td>230PTA</td> <td>227PTA</td> <td>221PTA</td> </tr> <tr> <td>講座</td> <td>653講座</td> <td>622講座</td> <td>610講座</td> <td>－講座</td> </tr> <tr> <td>参加者(延べ)</td> <td>16,141名</td> <td>16,262名</td> <td>16,087名</td> <td>－名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○親のための応援塾の取組内容を充実させるため、リーフレット「ようこそ応援塾へ」をPTA役員や就学前の子どもを持つ親に配付</p>		23年度	24年度	25年度	26年度	開催校	234PTA	230PTA	227PTA	221PTA	講座	653講座	622講座	610講座	－講座	参加者(延べ)	16,141名	16,262名	16,087名	－名
	23年度	24年度	25年度	26年度																	
開催校	234PTA	230PTA	227PTA	221PTA																	
講座	653講座	622講座	610講座	－講座																	
参加者(延べ)	16,141名	16,262名	16,087名	－名																	
<b>担当課</b>	社会教育課																				

<b>取組名</b>	家庭教育支援基盤形成事業 H23～ (家庭教育支援事業)
<b>取組実績</b>	<p>○関係機関及び事業関係者の情報共有と連携強化を図るため、全教育局で研修を実施</p> <p>▶乙訓教育局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親育ネットおとくに」協議会を開催 23～25年度：6回 26年度：5回</li> <li>・乙訓親まなびフォーラムを開催 参加者 23年度：約350名 24年度：約380名 25年度：約520名（ミニフォーラム参加者含む） 26年度：約450名（親まなび講座含む）</li> <li>・ミニフォーラムを2回開催 参加者 23年度：計72名 24年度：計70名 25年度：計124名 26年度：計104名</li> </ul> <p>▶山城教育局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育支援者等研修会を開催（参加者61名）【H23】</li> <li>・子育てサポータースキルアップ講座を開催 参加者 24年度：約180名 25年度：約250名 26年度：約210名</li> </ul> <p>▶南丹教育局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサポーター養成講座を開催（参加者324名）【H23】</li> <li>・南丹子育てフォーラム・ミニフォーラム・研修講座開催 参加者 24年度：422名 25年度：約500名 26年度：約520名</li> </ul> <p>▶中丹教育局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中丹はぐくみサポート会「出前mini応援塾」を3回開催 参加者 23年度：137名 24年度：175名</li> <li>・みんなでコラボin中丹、研修会を開催 参加者 25年度：約450名 26年度：約450名</li> </ul> <p>▶丹後教育局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手をつなごう地域の力「コラボ推進講座」を開催（参加者40名）【H23】</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー研修会を開催（参加者162名）【H24】</li> <li>・子育て支援ファシリテーター研修会を開催（参加者約70名）【H25】</li> <li>・丹後家庭教育支援研修会を開催（参加者74名）【H26】</li> </ul> <p>○家庭の教育力の向上のため、親への学習機会の提供や家庭教育支援チーム活動を行う市町（組合）教育委員会に対して助成</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町（組合）教委</td> <td>4市町（組合）</td> <td>5市町（組合）</td> <td>5市町（組合）</td> <td>5市町（組合）</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	市町（組合）教委	4市町（組合）	5市町（組合）	5市町（組合）	5市町（組合）
	23年度	24年度	25年度	26年度							
市町（組合）教委	4市町（組合）	5市町（組合）	5市町（組合）	5市町（組合）							
<b>担 当 課</b>	社会教育課										

<b>取 組 名</b>	家庭教育カウンセラー巡回相談事業 H23～ （心のサポート推進事業）										
<b>取 組 実 績</b>	<p>○家庭教育に関する悩みや不安を抱く保護者等に対して適切なアドバイスを行えるよう、臨床心理士を「家庭教育カウンセラー」として配置</p> <p>▶延べ相談件数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門相談</td> <td>383件</td> <td>330件</td> <td>285件</td> <td>321件</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	専門相談	383件	330件	285件	321件
	23年度	24年度	25年度	26年度							
専門相談	383件	330件	285件	321件							
<b>担 当 課</b>	社会教育課										

## 重点目標9 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる

<b>取組名</b>	京のまなび教室推進事業 H23～																																								
<b>取組実績</b>	<p>○放課後等における子どもの体験活動・学習活動・異世代交流等の一層の充実を図るため、学校や社会教育施設等を子どもたちの安心・安全な居場所として活用する「京のまなび教室」の開設を支援</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町(組合)教委</td> <td>19教委</td> <td>19教委</td> <td>19教委</td> <td>19教委</td> </tr> <tr> <td>教室</td> <td>76教室</td> <td>75教室</td> <td>74教室</td> <td>69教室</td> </tr> </tbody> </table> <p>○市町(組合)教育委員会が実施する「京のまなび教室」に、企業や伝統産業の職人等の「特別講師」の派遣をコーディネート</p> <p>▶派遣状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣先</td> <td>10教委 15教室等</td> <td>8教委 17教室等</td> <td>5教委 11教室</td> <td>10教委 17教室等</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>28回</td> <td>24回</td> <td>14回</td> <td>29回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業関係者の資質の向上や情報交換等を図るため、指導者等研修を実施</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>6回</td> <td>7回</td> <td>6回</td> <td>8回</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	市町(組合)教委	19教委	19教委	19教委	19教委	教室	76教室	75教室	74教室	69教室		23年度	24年度	25年度	26年度	派遣先	10教委 15教室等	8教委 17教室等	5教委 11教室	10教委 17教室等	回数	28回	24回	14回	29回		23年度	24年度	25年度	26年度	回数	6回	7回	6回	8回
	23年度	24年度	25年度	26年度																																					
市町(組合)教委	19教委	19教委	19教委	19教委																																					
教室	76教室	75教室	74教室	69教室																																					
	23年度	24年度	25年度	26年度																																					
派遣先	10教委 15教室等	8教委 17教室等	5教委 11教室	10教委 17教室等																																					
回数	28回	24回	14回	29回																																					
	23年度	24年度	25年度	26年度																																					
回数	6回	7回	6回	8回																																					
<b>担当課</b>	社会教育課																																								

<b>取組名</b>	地域で支える学校教育推進事業 H23～																				
<b>取組実績</b>	<p>○地域ぐるみで学校を支える体制整備として、「学校支援地域本部」を設置して、学習支援・部活動の支援・読書活動支援・学校行事の支援など、学校のニーズに応じた教育支援活動を実施</p> <p>▶設置状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町(組合)教委</td> <td>13市町</td> <td>13市町</td> <td>13市町</td> <td>13市町</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>16本部</td> <td>23本部</td> <td>27本部</td> <td>28本部</td> </tr> <tr> <td>対象校</td> <td>79校(園)</td> <td>105校(園)</td> <td>121校(園)</td> <td>122校(園)</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	市町(組合)教委	13市町	13市町	13市町	13市町	本部	16本部	23本部	27本部	28本部	対象校	79校(園)	105校(園)	121校(園)	122校(園)
	23年度	24年度	25年度	26年度																	
市町(組合)教委	13市町	13市町	13市町	13市町																	
本部	16本部	23本部	27本部	28本部																	
対象校	79校(園)	105校(園)	121校(園)	122校(園)																	
<b>担当課</b>	社会教育課																				

<b>取組名</b>	土曜日を活用した教育 H23～ (H23土曜教育検討事業、H24～土曜日を活用した教育事業)
<b>取組実績</b>	<p>○有識者や保護者、学校関係者を含めた「土曜日を活用した教育の在り方検討会議」を設置し、保護者や教職員を対象としたアンケート調査結果を踏まえた検討を計13回実施【H23】</p> <p>○土曜日における学校、家庭、地域社会が連携した多様で魅力的な教育活動の実現にむけ、実践研究校を指定【H24～】</p>

▶指定状況

	24年度	25年度	26年度
市町(組合)教委	8市町	20市町	18市町
小学校	16校	16校	13校
中学校	6校	12校	10校
府立高校	5校	—	—

○実践研究校に対し、成果や課題を把握するためのアンケート調査を実施【H24】

○成果や課題をもとに、府教育委員会としての基本的な考えをまとめ、各市町(組合)教育委員会へ通知【H24】

○府立高校において教育課程に位置付けた土曜日の授業について、教育課程特例校8校を指定して実施【H25】

○土曜日の教育支援体制等構築事業【H26】

土曜日等の教育支援に取り組む体制の構築を図るため、多用な経験や技能を持つ地域の人材や企業等の協力により、体系的・継続的な教育プログラムを実施

▶実施状況

	26年度
市町(組合)教委	5教委
箇所数	15箇所
対象校	40校(園)

担 当 課

総務企画課・教職員課・学校教育課・特別支援教育課・高校教育課・保健体育課・社会教育課

## 重点目標10 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる

取組名	開放型地域スポーツクラブ推進事業 H23
取組実績	○開放型地域スポーツクラブを新たに3校設置し、学校施設や教員、生徒ボランティアを活用したスポーツ活動を実施（府立高校10校） ○市町村の総合型地域スポーツクラブとの相互連携を実施（3市町村）
担当課	保健体育課

取組名	京都府社会教育・生涯学習・公民館等指導者研修会 H23～										
取組実績	○生涯学習社会の実現に向けて府内の社会教育をより一層推進するため、社会教育・生涯学習関係職員の資質の向上と専門的力量を高めることを目的とした研修会を開催 ▶実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>93名</td> <td>116名</td> <td>99名</td> <td>117名</td> </tr> </tbody> </table>		23年度	24年度	25年度	26年度	参加者数	93名	116名	99名	117名
	23年度	24年度	25年度	26年度							
参加者数	93名	116名	99名	117名							
担当課	社会教育課										

取組名	府立郷土資料館の在り方検討 H25
取組実績	○府立郷土資料館の今後の在り方について外部有識者等から意見を聴くための意見聴取会議を設置（4回開催）
担当課	文化財保護課

取組名	府立少年自然の家の施設整備 H25
取組実績	○子どもの体験活動充実等を図るためのクラフト棟を新設 ○安心・安全に利用できるよう老朽化改修、バリアフリー化
担当課	社会教育課

取組名	東日本大震災に係る被災者支援 H23～																																																	
取組実績	<p>○就学機会の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被災児童生徒の府内各校（園）への受入【H23】 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶受入状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>幼稚園</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>高校</th> <th>特別支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入合計</td> <td>1名</td> <td>49名</td> <td>14名</td> <td>17名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>23未受入</td> <td>0名</td> <td>38名</td> <td>10名</td> <td>14名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>入学料、入学考査料の減免措置を実施【H23】 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入学料 免除</th> <th>入学考査料 減免</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>16名</td> <td>6名</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>被災児童生徒就学等支援事業として「京都府高等学校修学等支援基金」の積み増しを行い、児童生徒等の就修学を支援し教育機会を確保【H23～】 <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園：入園料、保育料</li> <li>小中学校：学用品費、通学費、修学旅行費、給食費等</li> <li>高等学校：奨学金貸与</li> </ul> </li> </ul> <p>○人的派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動支援チームを派遣し、被災地における児童生徒の心のケアや学校教育活動を支援【H23】 <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣期間：4月21日～7月21日（105日間で14陣派遣）</li> <li>派遣人数：93人（学校教員等40名、指導主事等35名、スクールカウンセラー18名）</li> </ul> </li> <li>緊急スクールカウンセラー等派遣事業として、各支援地域の学校にスクールカウンセラーが常駐し、心のケアを支援【H23～】 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶派遣状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>30名</td> <td>34名</td> <td>34名</td> <td>24名</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> </li> <li>文化財被害状況調査のため、文化財建造物技師3名を派遣【H23】</li> <li>埋蔵文化財発掘調査のため、福島県に技師を派遣【H24～H26】 <ul style="list-style-type: none"> <li>24年度：1名 25年度1名 26年度：1名</li> </ul> </li> </ul> <p>○心の復興支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ふくしまっ子応援 京・体験プロジェクト」として、避難所等で生活している福島県の小中学生を夏季休業中に京都に招き、京の文化体験、科学体験活動を実施【H23～H24】 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶参加者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>40名</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>38名</td> <td>34名</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> </li> <li>福島県の職業学科高校生を府立高校の職業学科設置校に招待し、実験・実習等を行うとともに、京都府の高校生との交流を実施【H23～H24】 <ul style="list-style-type: none"> <li>農業：農芸高校、須知高校</li> <li>工業：工業高校 水産：海洋高校 商業：京都すばる高校</li> </ul> </li> <li>▶実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>		幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援	受入合計	1名	49名	14名	17名	1名	23未受入	0名	38名	10名	14名	1名		入学料 免除	入学考査料 減免	人数	16名	6名		23年度	24年度	25年度	26年度	人数	30名	34名	34名	24名		23年度	24年度	小学生	40名	35名	中学生	38名	34名		23年度	24年度			
	幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援																																													
受入合計	1名	49名	14名	17名	1名																																													
23未受入	0名	38名	10名	14名	1名																																													
	入学料 免除	入学考査料 減免																																																
人数	16名	6名																																																
	23年度	24年度	25年度	26年度																																														
人数	30名	34名	34名	24名																																														
	23年度	24年度																																																
小学生	40名	35名																																																
中学生	38名	34名																																																
	23年度	24年度																																																

	<table border="1"> <tr> <td>生徒</td> <td>46名</td> <td>36名</td> </tr> <tr> <td>引率教員</td> <td>14名</td> <td>10名</td> </tr> </table>	生徒	46名	36名	引率教員	14名	10名
生徒	46名	36名					
引率教員	14名	10名					
<b>担当課</b>	総務企画課・管理課・教職員課・学校教育課・特別支援教育課・高校教育課・社会教育課・文化財保護課						

<b>取組名</b>	台風18号の被災地の支援 H25
<b>取組実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○被災被害にあった児童生徒の教科用図書の再給与を実施</li> <li>○台風18号の被害にあった被災地域において、府立高校生・教職員が復旧ボランティアを行い、被災地を支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月17日～10月6日までの実績</li> <li>府立高校生1,841名 教職員193名 合計 2,034名</li> </ul> </li> <li>○被災した萬福寺他15件の文化財の保存修理に対する補助を実施</li> <li>○被災した丹波支援学校、中丹支援学校等の復旧工事を実施</li> </ul>
<b>担当課</b>	管理課・学校教育課・特別支援教育課・高校教育課・文化財保護課

<b>取組名</b>	平成26年8月豪雨に係る被災地支援 H26
<b>取組実績</b>	○被害のあった工業高校等の復旧工事を実施
<b>担当課</b>	管理課